

# 平成26年度 事業報告書

はじめに .....	P 3
<b>I. 法人の概要</b> .....	P 4
1. 学校法人の沿革（概要）等 .....	P 4
2. 学校法人跡見学園寄附行為及び建学の理念 .....	P 4
3. 寄附行為に定める事業内容 .....	P 5
4. 所管官庁に関する事項 .....	P 5
5. 設置する学校・学部・学科等 .....	P 5
6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問 .....	P 6
7. 学園組織 .....	P 7
8. 専任教職員の概要 .....	P 8
9. 学外施設 .....	P 9
<b>II. 事業の概要</b> .....	P10
1. 当該年度の主な事業の概要 .....	P10
2. 教育研究の概要 .....	P12
・女子大学 .....	P12
(1) 女子大学の概要 .....	P12
(2) 女子大学の実績 .....	P18
・中学校高等学校 .....	P40
(1) 中学校高等学校の実績 .....	P40
3. 管理運営の概要 .....	P55
<b>III. 財務の概要</b> .....	P72
1. 平成26年度跡見学園収支決算について .....	P72
(1) 資金収支計算書 .....	P72
(2) 消費収支計算書 .....	P75
(3) 貸借対照表 .....	P78
(4) 財産目録 .....	P81
2. 過去5年間の収支決算の推移について .....	P82
3. 過去5年間の主要財務比率の推移について .....	P82
<b>IV. 収益事業の概要</b> .....	P83
監査報告書 .....	P86

## はじめに

4月の消費税増税に始まる平成26年度は、集团的自衛権の閣議決定、歴史認識をめぐる中国・韓国との外交摩擦、中国主導のアジアインフラ投資銀行への参加問題、いわゆる「イスラム国」の日本人拉致、沖縄普天間基地移設問題など、日本が内外ともに厳しい問題を抱えた一年となりました。

目を日本経済に移すと、平成26年度の経常収支は、細る黒字幅が緩やかながらも拡大に転じましたが、経常黒字の厚みが乏しい局面は、依然として続いております。この黒字幅拡大の兆しは、消費税増税前の駆け込み需要で膨らんだ輸入が一服した上、燃料価格の低下に伴う輸入の減少、海外からの配当など所得収支の黒字拡大、円安で観光客ら訪日外国人の増加によるサービス収支の赤字縮小によるものです。ただし、経常黒字が少しく拡大に転じたとはいえ、なお低水準の黒字幅にとどまることから、中国をはじめ海外経済の情勢によっては流れが一気に変わるので、経常赤字になれば、家計の貯蓄力が低下するなか、GDP比で先進国中最も高い水準の巨額の財政赤字を抱えた日本は、金利の急騰などを招く懸念があります。

このような内外の動向は、私学経営を取り囲む環境にも大きな影響を及ぼして来ます。18歳人口の急減が間近に迫るなかで、私学が受験生を奪い合う厳しい競争的環境を勝ち抜くための改革を進めていくためには、財務の健全性について確固とした見通しに立ちつつ、今後の社会動向や価値観の変化に対して、既成の利害関係や先入観の枠組みにとらわれることなく、大胆に対応していく実力が必要となります。

学園は、将来に向けて「選ばれる私学」としての伝統を守り革新するためには、女子教育の新しい地平を開拓し、他にはない「優れた教育」を実践し、満足度の高い学修成果を導き出すことができる「常に改革し前に動いている跡見」であることが強く求められています。

現在、学園が取り組む改革のコアは、大学にあっては、新学部開設後の既存の教育課程の再構築と文京キャンパスの再整備であり、社会と向き合う女性の生涯を支える力を最大限に引き出せる教育の追求であります。また、中学高校にあっては、難関大学進学競争に勝ち残る学校として、保護者の初志を尊重し生徒の力を最大限に引き伸ばせる教育体制への刷新であります。今後は、これらの改革を進めるだけでなく、さらにその先にあるものも見据えて参ります。

このために、幕末にルーツをもつ近代女子教育の先駆的な私立学校である「跡見学校」以来の革新の伝統を継ぐ学園は、高い財務規律と女子教育に対する深い使命感に立って、今後とも如何なる環境の変化にも対応できる強固な財務基盤を堅持し、些かの不安も生じることのない、揺るぎない学校経営に取り組んでいく所存であります。

# I. 法人の概要

## 1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年 跡見学校開校
- 大正2年 財団法人跡見女学校となる
- 昭和19年 跡見女学校を廃し、跡見高等女学校となる
- 昭和21年 跡見高等女学校専攻科設置（文科、家政科）
- 昭和22年 跡見学園中学部設置
- 昭和23年 跡見学園高等学校設置
- 昭和24年 跡見学園高等学校専攻科設置
- 昭和25年 跡見学園短期大学（文科、家政科<家政課程、生活芸術課程>修業年限2年）を設置  
跡見学園中学部を跡見学園中学校へ名称変更
- 昭和26年 学校法人跡見学園となる
- 昭和27年 跡見学園短期大学、生活芸術科増設
- 昭和40年 跡見学園女子大学（文学部・国文学科、美学美術史学科）を設置
- 昭和42年 跡見学園女子大学文学部英文学科増設
- 昭和49年 跡見学園女子大学文学部文化学科増設
- 昭和57年 跡見学園短期大学文科英文専攻課程増設（文科・国文専攻、英文専攻となる）
- 昭和61年 跡見学園短期大学文科英文専攻臨時的定員増
- 平成3年 跡見学園女子大学文学部臨時的定員増
- 平成7年 跡見学園短期大学を跡見学園女子大学短期大学部に名称変更
- 平成12年 跡見学園女子大学文学部・跡見学園女子大学短期大学部英文専攻、臨時的定員増延長
- 平成14年 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科を改組して人文学科を設置、臨床心理学科を増設、マネジメント学部マネジメント学科を新設  
跡見学園女子大学短期大学部文科、家政科、生活芸術科の入学定員を変更
- 平成16年 跡見学園女子大学短期大学部文科を言語文化科へ、国文専攻を日本語専攻へ、英文専攻を英語専攻へそれぞれ名称変更し、言語文化科及び家政科の入学定員を変更
- 平成17年 跡見学園女子大学大学院（人文科学研究科・日本文化専攻、臨床心理学専攻）を設置
- 平成18年 跡見学園女子大学に文学部コミュニケーション文化学科、マネジメント学部生活環境マネジメント学科、大学院マネジメント研究科（マネジメント専攻）を増設、文学部美学美術史学科を廃止
- 平成19年 跡見学園女子大学文学部国文学科、英文学科、文化学科を廃止  
跡見学園女子大学短期大学部を廃止
- 平成22年 跡見学園女子大学に文学部現代文化表現学科、マネジメント学部観光マネジメント学科を増設
- 平成23年 跡見学園女子大学の本部を文京キャンパスへ移転

## 2. 学校法人跡見学園寄附行為及び建学の理念

大正二年十一月二十一日制定  
(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、

大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

### 3. 寄附行為に定める事業内容

(目的)

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従い、学校教育を行うことを目的とする。

### 4. 所管官庁に関する事項

文部科学省高等教育局私学部

東京都生活文化局私学部

### 5. 設置する学校・学部・学科等

平成26年5月1日現在

学校名 (所在地)	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員
		年度	人	人	人
跡見学園女子大学 (埼玉県新座市中野一丁目9番6号)  (東京都文京区大塚一丁目5番2号)	大学院				
	人文科学研究科 日本文化専攻	平成17年	8	16	2
	臨床心理学専攻	平成17年	12	24	28
	マネジメント研究科 マネジメント専攻	平成18年	15	30	6
	跡見学園女子大学大学院 合計		35	70	36
文京キャンパス (東京都文京区大塚一丁目5番2号)  新座キャンパス (埼玉県新座市中野1丁目9番6号)	文学部				
	人文学科	平成14年	180	720	832
	現代文化表現学科	平成22年	90	360	455
	コミュニケーション文化学科	平成18年	120	480	457
	臨床心理学科	平成14年	120	480	503
新座キャンパス (埼玉県新座市中野1丁目9番6号)	マネジメント学部				
	マネジメント学科	平成14年	210	840	978
	観光マネジメント学科	平成22年	90	360	446
	生活環境マネジメント学科	平成18年	60	240	250
	跡見学園女子大学 合計		870	3,480	3,921
跡見学園高等学校 (東京都文京区大塚一丁目5番9号)	全日制課程普通科	昭和23年	300	900	768
跡見学園中学校 (東京都文京区大塚一丁目5番9号)		昭和22年	300	900	845
跡見学園 合計			1,505	5,350	5,570

※中学校の募集定員は270名

## 6. 理事・監事・評議員（第21期）、顧問

・第21期（改選前 平成26年5月1日現在）

## (1) 理事 13名

平成26年5月1日現在

氏名	区分・学園との関係	氏名	区分・学園との関係
山崎 一 穎	理事長 学識経験者	岡田 章 子	評議員理事（卒業生）
嶋田 英 誠	職務上・中高校長 常務理事（教学担当）	大塚 和 子	評議員理事（卒業生）
山田 徹 雄	職務上・女子大学長 常務理事（財務担当）	見米 孝 尚	評議員理事（保証人）
大塚 博	職務上・女子大副学長	佐藤 正 昭	評議員理事（学識経験者）
住川 明 子	職務上・中高副校長	日下部 禮代子	評議員理事（学識経験者）
堀 雅 裕	職務上・法人事務局長 事業理事 常務理事（総務・人事担当）	平木 典 子	学識経験者
小仲 信 孝	評議員理事（教職員）		

## (2) 監事 2名

平成26年5月1日現在

氏名	区分・学園との関係	氏名	区分・学園との関係
金井塚 清	学識経験者	伊澤 辰 雄	学識経験者

## (3) 評議員 32名

平成26年5月1日現在

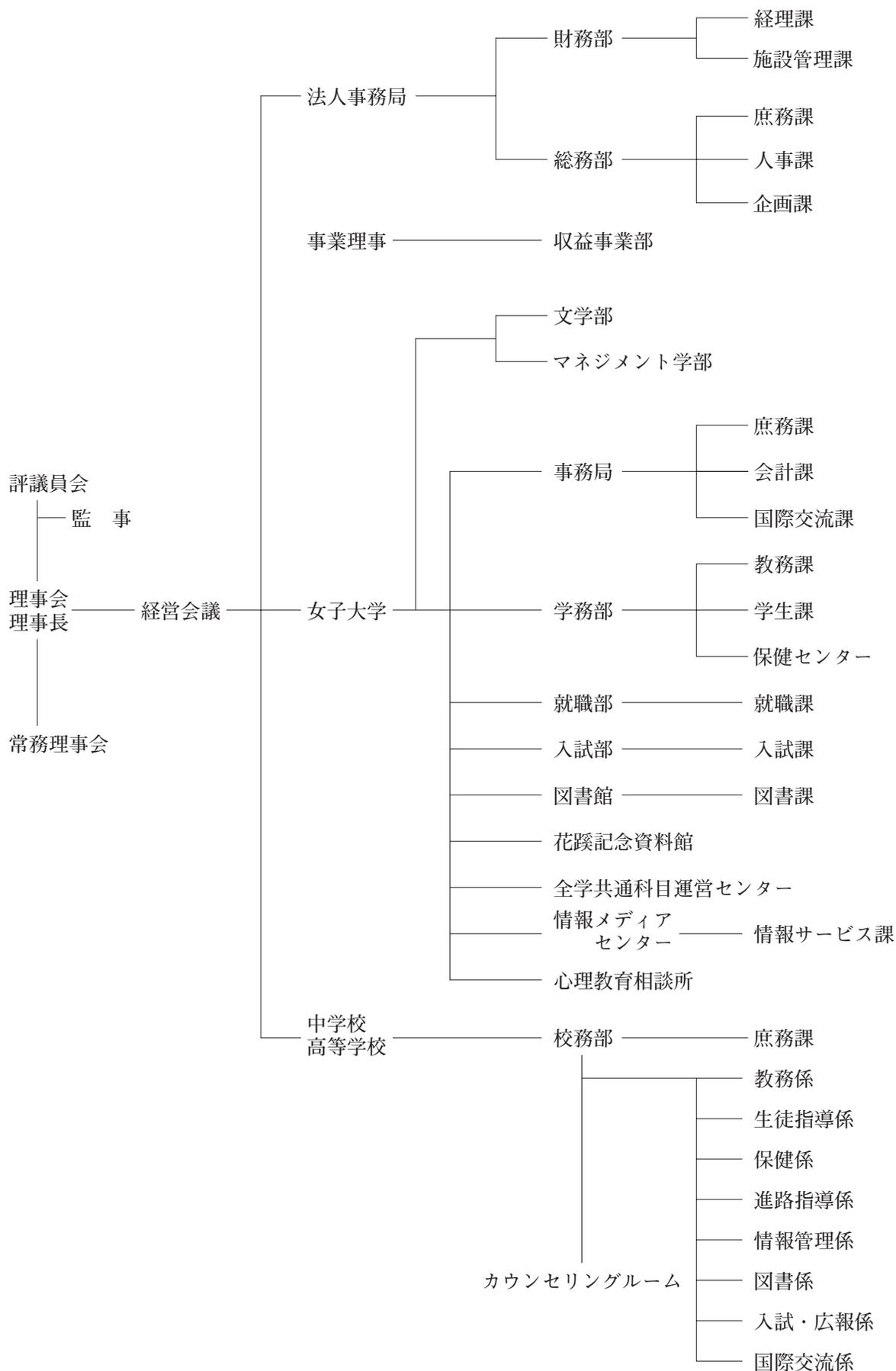
氏名	区分・学園との関係	氏名	区分・学園との関係
大野 二 朗	教職員（大学）	山田 徹 雄	職務上・女子大学長
小仲 信 孝	教職員（大学）	大塚 博	職務上・女子大副学長
山口 豊 一	教職員（大学）	嶋田 英 誠	職務上・中高校長
伊東 利 博	教職員（中高）	住川 明 子	職務上・中高副校長
詫 磨 学	教職員（法人）	堀 雅 裕	職務上・法人事務局長
木村 安 子	卒業生（泉会）	邊 見 孝 之	保証人（大学）
岡田 章 子	卒業生（泉会）	大関 勝 浩	保証人（大学）
川合 智 子	卒業生（泉会）	川本 武 彦	保証人（大学）
松浦 仁 子	卒業生（泉会）	河野 政 美	保証人（大学）
山下 陽 枝	卒業生（校友会長・桃李の会）	見米 孝 尚	保証人（中高）
萬葉 洋 子	卒業生（桃李の会）	上村 明	保証人（中高）
田中 恵美子	卒業生（桃李の会）	佐藤 正 昭	学識経験者
唐木 フ ク	卒業生（桃李の会）	日下部 禮代子	学識経験者
大塚 和 子	卒業生（一紫会）	宮本 文 昭	学識経験者
藤田 理恵子	卒業生（一紫会）	今野 雅 裕	学識経験者
田子 郁 子	卒業生（一紫会）		
池田 文 子	卒業生（一紫会）		

## (4) 顧問 1名

平成26年5月1日現在

氏名	区分・学園との関係	備 考
跡見 純 弘	学識経験者	前理事長

### 7. 学 園 組 織 (平成26年 4月 1日現在)



## 8. 専任教職員の概要 (平成26年5月1日現在)

## (1) 教職員数等

(単位：名)

研究科等名	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
大学院						
人文科学研究科 (学部専任教員14名兼任)						7
日本文化専攻	5	1	0	0	6	
臨床心理学専攻	6	2	0	0	8	
マネジメント研究科 (学部専任教員11名兼任)						5
マネジメント専攻	11	0	0	0	11	
跡見学園女子大学大学院 合計	22	3	0	0	25	12

学部・学科等名	専任					非常勤
	教授	准教授	講師	助教	計	
大学						
文学部						
人文学科	17	6	0	3	26	104
現代文化表現学科	5	3	0	0	8	15
コミュニケーション文化学科	8	2	0	1	11	27
臨床心理学科	8	3	0	0	11	32
マネジメント学部						
マネジメント学科	8	4	1	3	16	42
観光マネジメント学科	7	3	0	0	10	6
生活環境マネジメント学科	5	2	0	1	8	28
跡見学園女子大学 合計	58	23	1	8	90	254

中学校高等学校	専任					非常勤
	校長	副校長	教諭	講師	計	
高等学校			33		33	25
中学校		1	36		37	23
跡見学園中学校高等学校 合計		1	69	0	70	48

※校長は役員なので含めず

事務・技術・用務職員	専任			合計	アルバイト契約等
	事務職員	技術職員	用務職員		
法人事務局 (含事業部)	19	0	1	20	3
女子大学	70	0	2	72	63
中学校高等学校	8	0	0	8	27
跡見学園 合計	97	0	3	100	93

以上 専任教職員 260名  
 その他 407名  
 合計 667名

## 9. 学 外 施 設

### (1) 北軽井沢研修所

住 所 〒337-1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991番地92

電 話 0279-84-2362

F A X 0279-84-1178

収容人数 約80名

テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

### (2) 学生寮

住 所 〒352-0011 埼玉県新座市野火止五丁目17番17号

電 話 048-478-3337 (FAX兼)

収容人数 133名

設 備 全室個室 (洋室)

バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベッド、電話、インターネットアダプタを完備

食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置

食 事 平 日：朝食・夕食

日・祝日：朝食のみ

※新座寮は平成27年3月31日をもって閉寮

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 当該年度の主な事業の概要

平成26年度実績の主な概要は、次のとおりである。

#### <法人関係>

##### ○第22期役員及び評議員の改選について

第375回理事会及び第324回評議員会をもって、第22期役員及び評議員の改選が終了し、理事長には山崎一穎氏が再任された。

##### ○次年度予算の編成について

改正後の新たな会計基準による平成27年度予算は、△5%のシーリングの平成25年度、ゼロシーリングの平成26年度に続き、△1%のシーリングで編成し、引き続き収支均衡を目指した結果、基本金組入前当年度収支差額は△36,752千円、当年度収支差額は△302,192千円となった。これは予備費（支出）50,000千円が含まれているので、これを除けば、基本金組入前当年度収支については、収支均衡の予算となった。当年度収支差額については、新学部設置に伴う教員人件費及び教育研究経費の増加に相応している。

##### ○新学部設置に係る寄附行為変更認可について

平成26年5月30日付にて認可申請を行った跡見学園女子大学観光コミュニティ学部（観光デザイン学科及びコミュニティデザイン学科）の設置に係る寄附行為変更については、文部科学大臣から平成26年10月31日に認可（26文科高第541号）された。

##### ○収益事業に係る寄附行為変更認可について

平成26年12月17日付にて認可申請を行った収益事業（不動産業）に係る寄附行為変更については、文部科学大臣から平成27年2月6日に認可（26受文科高第2137号）された。

##### ○鶴原校地の隣地への崖崩れに対する対応について

平成26年6月25日（水）に勝浦の不動産業者から電話があり、鶴原校地の山側斜面の一部が崩落して隣家の物置を破損させた、との連絡があった。現地確認の上、崩落箇所の擁壁工事及び物置の修復による原状回復を地元業者に依頼し、8月26日に工事が完了した。

##### ○新座キャンパスの停電に対する対応について

平成26年10月30日（木）の深夜1時頃、新座キャンパスにおいて大規模停電が発生し、仮設ケーブルを敷設して応急対処。後日、高圧ケーブルを地中から掘り起こして原因究明を行った結果、心理教育相談所の裏手で漏電箇所が発見された。また、これに伴い12月7日（日）に行った当該仮設ケーブルに対する高圧ケーブルの引替本設工事で別系統V C Bの故障も発見されたが、12月21日（日）に当該V C Bの更新工事を行った。

##### ○森鷗外『舞姫』の自筆草稿の購入について

学園との縁があり、その高い存在価値から、教育研究はもとより、学園のブランドイメージを高めるものとの観点から、原本を目にすることは鷗外研究者でも叶わなかった希少性の極めて高い第一級資料である森鷗外の作品『舞姫』の自筆草稿（執筆時 明治22（1889）年12月 無罫和紙袋綴 全28丁 柾目桐箱入 函書 森於菟筆 昭和8年12月21日）を、跡見学園140周年記念事業の一環として、平成27年度予算で購入（取得価格（税込）：46,000,000円）することを決定した。

##### ○有価証券の活用について

学園隣接地を有する金融機関との良好な関係を継続するために、その傘下にある証券会社を介して、次のような有価証券を新たに購入した。

- ・日経平均株価を連動対象とするエクイティ・リンク債（1億円 期間5年 クーポン1.4%）を平成26年7月18日に購入。
- ・三菱UFJFG(a) 及びSMBC三井住友FG (b) の各個別株にそれぞれリンクした他社株転換債

(E B債) ((a) 2億円 期間5年 クーポン1.9%、(b) 1億円 期間5年 クーポン2.0%) を平成26年9月25日に購入。

- ・三菱商事の個別株にリンクした早期償還条項付他社株転換債 (2億円 期間5年 クーポン2.2%) を平成27年1月14日に購入。
- ・日経平均株価を連動対象とするエクイティ・リンク債 (3億円 期間5年 クーポン1.4%) を平成27年2月27日に購入。

なお、以上の有価証券の購入後であっても、学園の現在の有価証券の保有額 (6億円) には、変更はない。

#### ○大学設置50周年、学園創立140周年に係る企画について

平成27年3月10日の理事会・評議員会において、大学設置50周年、学園創立140周年に係る企画について、次のように報告された。

- (1) 『跡見学園女子大学50年史』の刊行
- (2) 記念式典の挙行 (平成27年10月24日を予定)
- (3) 文京区にある国登録文化財 (一葉ゆかりの「旧伊勢屋質店」) の購入
- (4) 文学史上の稀観資料 (『舞姫』自筆草稿) の購入
- (5) 学園と卒業生との絆を相互に深め、これを将来に確実につなげるため、ホームカミングデーの開催

### <大学関係>

#### ○新学部設置認可について

平成26年5月26日付にて認可申請を行った観光コミュニティ学部 (入学定員: 観光デザイン学科120名、コミュニティデザイン学科80名) の設置については、文部科学大臣から平成26年10月31日に認可 (26文科高第540号) された。

#### ○学校教育法の改正に伴う大学ガバナンス体制の整備について

学校教育法及び学校教育法施行規則の改正 (平成27年4月1日施行) に伴い、学長のリーダーシップの下で戦略的に大学を運営できるガバナンス体制構築の観点から、大学の組織及び運営体制を見直した結果、副学長の職務内容を改め、これを2名とするとともに、教授会の役割を最終決定機関としない等、学長のガバナンス体制の強化、教授会、大学評議員会の役割の明確化を図るため、学則の改正を行った。

#### ○入学検定料の減額について

健全財政を維持するため平成26年度に決定した学費改定の趣旨を踏まえ、志願者吸引力の実効性をより高めるため、平成27年度入学者から適用する入学検定料の減額 (大学入試センター試験利用入試 25,000円 ⇒ 15,000円 (△10,000円)) を実施した。

#### ○国登録有形文化財「旧伊勢屋質店」の購入について

文京区からの要請を受け、樋口一葉ゆかりの国登録有形文化財「旧伊勢屋質店」 (土地148.77㎡、別に私道部分30.29㎡のうち持ち分4分の1、建物105.77㎡、他に附属建物44.61㎡) を教育の用に供するため、跡見学園140周年記念事業の一環として購入 (購入金額139,500,000円－文京区補助金42,000,000円＋仲介手数料2,400,000円 (税込) = 学園負担額99,900,000円) した。

#### ○新学生寮について

平成26年6月から着工となった文京区音羽の新学生寮「メゾン音羽」 (地下1階・地上4階 2,428.31㎡ 94名収容) については、平成27年3月13日 (金) に引き渡しを受け、3月17日 (火) 13:30～15:30に竣工式が執り行われた。当初の予定どおり、4月1日から開寮された。

一方、新座市野火止の旧学生寮については、平成27年3月22日 (日) までに在寮生62名のすべてが退寮を完了、3月31日 (火) に閉鎖となった。

<中学高校関係>

○グランドデザインの策定について

過去140年に及ぶ跡見女子教育の長所は踏襲しつつも、21世紀日本において求められる女子教育の在り方を考え、入学試験における応募者の減少・偏差値の低下という危機的状況下にある中学高校に対する社会的評価を回復し、社会の要請に応えるべく、①難関大学受験校としての進学実績の構築、②入学試験における応募者の増大と合格偏差値の上昇、③自律的・自立的に勉学する環境の整備・育成に努めること、を戦略とする跡見学園中学校高等学校グランドデザインの策定を行った。

○入学検定料の減額について

健全財政を維持するため平成26年度に決定した学費改定の趣旨を踏まえ、志願者吸引力の実効性をより高めるため、平成27年度入学者から適用する入学検定料の減額（中学の入学検定料 2回同時出願 40,000円 ⇒ 35,000円（△ 5,000円）、3回同時出願 50,000円 ⇒ 40,000円（△ 10,000円））を実施した。

○昭憲皇太后百年祭記念学校奉納行事について

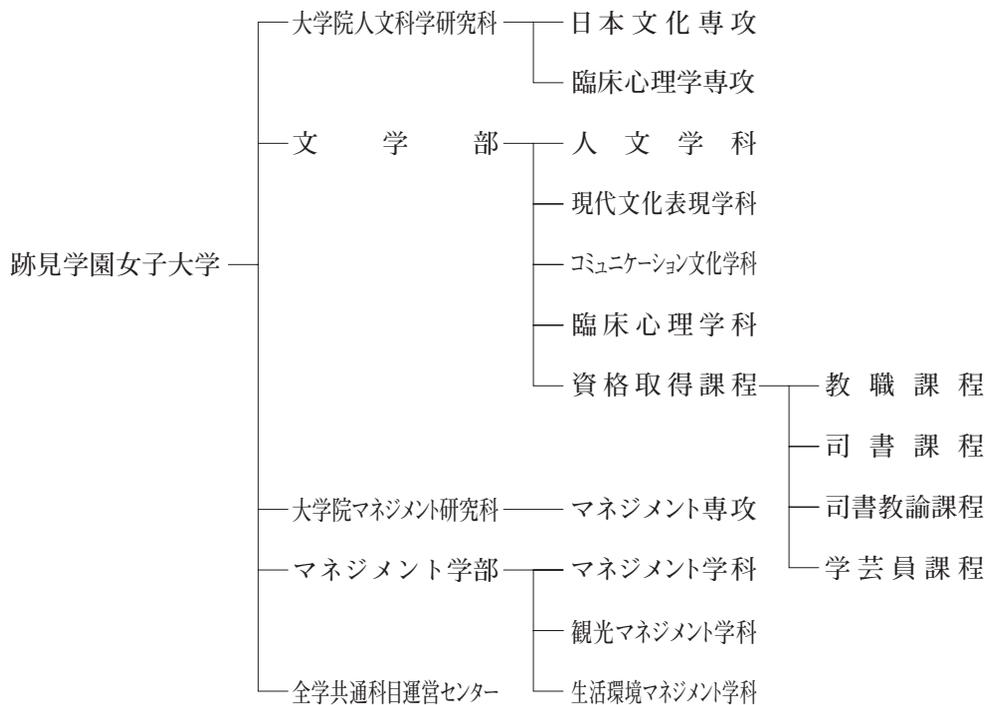
平成26年 4月6日に行われた昭憲皇太后百年祭記念の学校奉納行事にご招待を受け、生徒がリコーダー演奏の奉納を行った。当日の明治神宮は雷が鳴って雨も降ったが、奉納時には上がって演奏を無事に終えることができた。日頃の練習の成果が発揮され、上手な演奏であった。奉納後の生徒は、直会で労がねぎらわれた。

2. 教育研究の概要

・女子大学

(1) 女子大学の概要

(1) 教育研究上の基本となる組織に関する情報（学部、学科、課程等の名称）



(2) 教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報

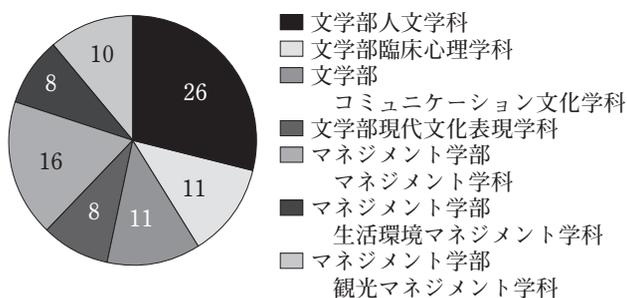
大学等	学部・研究科等	学科	教員数
学部	文学部	人文学科	26名
		臨床心理学科	11名
		コミュニケーション文化学科	11名
		現代文化表現学科	8名
	マネジメント学部	マネジメント学科	16名
		生活環境マネジメント学科	8名
観光マネジメント学科		10名	
大学院	人文科学研究科		14名
	マネジメント研究科		11名

【教員の保有学位または職務上の実績等】  
 博士後期課程修了または単位取得満期退学者  
 文学部36名、マネジメント学部24名、人文科学研究科11名、マネジメント研究科5名

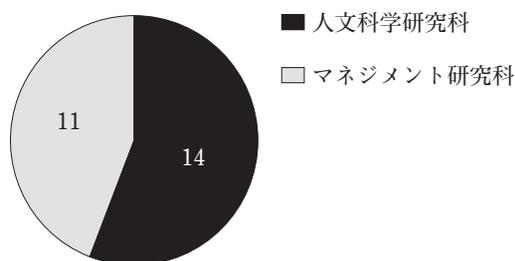
教員に占める博士課程修了または単位取得満期退学者の比率

大学等	学部・研究科等	博士課程修了または 単位取得満期退学者	そうでない者	教員数
学部	文学部	36	20	56
	マネジメント学部	24	10	34
大学院	人文科学研究科	11	3	14
	マネジメント研究科	5	6	11

学科別教員数 (学部)



研究科別教員数 (大学院)



(3) 学生に関する情報

【入学に関する基本的な方針】  
 跡見学園女子大学は、大学教育に耐え得る基礎的な学力を持ち、物事に積極的に取り組むチャレンジ精神によって、自律的かつ自立的な社会人を目標とする受験生を求める。入学後、幅広い視野を身につけ、学問を通じて問題を自ら設定し、情報を収集・分析して企画・立案できるスキルを修得するためには、本学の教育課程に対する理解と本学の教育課程を修得しようとする意欲が求められる。

学部・研究科	入学者数	収容定員	在学者数	卒業者数	進学者数	就職者数
文学部	515名	2,040名	2,247名	544名	29名	414名
マネジメント学部	423名	1,440名	1,674名	388名	5名	348名
人文科学研究科	17名	40名	30名	13名	0名	9名
マネジメント研究科	4名	30名	6名	1名	0名	0名

## (4) 教育課程に関する情報

別紙をご覧ください。

(別紙省略)

別紙項目

- 1) 全学共通科目 (前期課程)
- 2) 全学共通科目 (後期課程)
- 3) 人文学科専門科目 (前期課程)
- 4) 人文学科専門科目 (後期課程)
- 5) 現代文化表現学科専門科目 (前期課程)
- 6) 現代文化表現学科専門科目 (後期課程)
- 7) コミュニケーション文化学科専門科目 (前期課程)
- 8) コミュニケーション文化学科専門科目 (後期課程)
- 9) 臨床心理学科専門科目 (前期課程)
- 10) 臨床心理学科専門科目 (後期課程)
- 11) マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 12) マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 13) 観光マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 14) 観光マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 15) 生活環境マネジメント学科専門科目 (前期課程)
- 16) 生活環境マネジメント学科専門科目 (後期課程)
- 17) 人文科学研究科日本文化専攻
- 18) 人文科学研究科臨床心理学専攻
- 19) マネジメント研究科マネジメント専攻

## (5) 学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

学部・研究科等	学科	修業 年限	必要修得 単位数	科目区分ごとの		取得可能な学位及び 専攻名称
				必修	選択	
文学部	人文学科	4	124	23	101	学士 (人文学)
	現代文化表現学科	4	124	21	103	学士 (文化表現学)
	コミュニケーション文化学科	4	124	30	94	学士 (コミュニケーション文化学)
	臨床心理学科	4	124	33	91	学士 (臨床心理学)
マネジメント学部	マネジメント学科	4	124	25	99	学士 (マネジメント学)
	観光マネジメント学科	4	124	23	105	学士 (マネジメント学)
	生活環境マネジメント学科	4	124	23	105	学士 (マネジメント学)
人文科学研究科	日本文化専攻	2	30	14	16	修士 (人文学)
	臨床心理学専攻	2	30	22	8	修士 (臨床心理学)
マネジメント研究科	マネジメント専攻	2	30	6	24	修士 (マネジメント学)

(6) 学修環境に関する情報

大学等	キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
大 学	文京キャンパス	文学部 (3,4年) マネジメント学部 (3,4年) 大学院マネジメント研究科	〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2 TEL.03-3941-7420	丸ノ内線 茗荷谷駅 より徒歩2分 有楽町線 護国寺駅 より徒歩8分
		【キャンパス概要】 1号館(茗荷谷図書館、視聴覚ホール、学生食堂)、2号館(Atomi Blossom Hall)、3号館		
	新座キャンパス	文学部 (1,2年) マネジメント学部 (1,2年) 大学院人文科学研究科	〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL.048-478-3333	JR武蔵野線 新座駅 より大学バス7分 東武東上線 志木駅 より西武バス15分
		【キャンパス概要】 1号館、2号館(花蹊記念資料館、視聴覚教室)、3号館、4号館、花蹊メモリアルホール、新座図書館、グリーンホール(学生食堂、ラウンジ)、体育館、グラウンド、心理教育相談所		
<p>【授業】 文京キャンパスにおいては、学部の後期課程科目の全学共通科目及び専門科目並びにマネジメント研究科の専門科目の授業が行われている。新座キャンパスにおいては、学部の前期課程の全学共通科目及び専門科目並びに人文科学研究科の専門科目の授業が行われている。授業期間は、文京、新座両キャンパスとも、春学期(4月から9月)及び秋学期(10月から3月)の2期に分かれている。</p> <p>【課外活動の状況】 クラブ・サークル活動</p> <p>体育系) 競技ダンス部、体育会ラクロス部、ダンス部A☆fig、軟式野球部、ハイキング部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部</p> <p>文化系) 跡見エコキャンパス研究会、跡見ウィンドオーケストラ部、映像映画愛好部、演劇部、合唱団、華道部、軽音楽部、広告研究部、紅茶クラブ、サイコロ倶楽部、茶道部、写真部、書道部、心理学検定部、美術部、文学研究部、放送文化研究部、ボランティアサークルさくら、漫画研究部、マンドリンクラブ、焼き物研究部</p> <p>その他活動) 学生会本部、紫祭実行委員会、跡見学園女子大学防犯リーダー、母子救護所ボランティア、図書館ボランティア</p>				

## (7) 学生納付金に関する情報

機 関	学部・研究科等	授業料		入学金		その他の費用徴収	
		金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期
大 学	文学部	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	300,000円	入学手続時	107,000円 95,000円	4月末日 10月末日
		<p>* 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。</p> <p>【授業料減免制度の概要】</p> <p>・ 減免対象の種類、要件</p> <p>①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。</p> <p>②留学規程に基づく在学留学者への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。</p> <p>③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。</p> <p>・ 必要手続等</p> <p>①休学願いの提出。教授会審議を経て学長が許可。</p> <p>②留学規程に基づく申請。教授会審議を経て学長が許可。</p> <p>③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。</p>					
大 学	マネジメント学部	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	300,000円	入学手続時	107,000円 95,000円	4月末日 10月末日
		<p>* 授業料に関しては、2年次から各学年ごとに10,000円増の漸増方式を適用する。ただし、修業年限を超えた場合は適用しない。</p> <p>* 入学手続時にオリエンテーション費用を別途徴収する。(平成26年度実績17,000円)</p> <p>【授業料減免制度の概要】</p> <p>・ 減免対象の種類、要件</p> <p>①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。</p> <p>②留学規程に基づく在学留学者への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。</p> <p>③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。</p> <p>・ 必要手続等</p> <p>①休学願いの提出。教授会審議を経て学長が許可。</p> <p>②留学規程に基づく申請。教授会審議を経て学長が許可。</p> <p>③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。</p>					
大学院	人文科学研究科	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	270,000円	入学手続時	92,000円 80,000円	4月末日 10月末日
		<p>* 授業料に関しては、2年次に10,000円増となる。</p> <p>* 跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。</p> <p>【授業料減免制度の概要】</p> <p>・ 減免対象の種類、要件</p> <p>①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。</p> <p>②留学規程に基づく在学留学者への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。</p> <p>③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。</p> <p>・ 必要手続等</p> <p>①休学願いの提出。研究科委員会審議を経て学長が許可。</p> <p>②留学規程に基づく申請。研究科委員会審議を経て学長が許可。</p> <p>③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。</p>					
大学院	マネジメント研究科	371,000円 371,000円	4月末日 10月末日	270,000円	入学手続時	92,000円 80,000円	4月末日 10月末日
		<p>* 授業料に関しては、2年次に10,000円増となる。</p> <p>* 跡見学園女子大学を卒業した入学者は、入学金の半額を免除する。</p> <p>【授業料減免制度の概要】</p> <p>・ 減免対象の種類、要件</p> <p>①各学期を通じた休学者への授業料半額免除及び施設設備費免除。</p> <p>②留学規程に基づく在学留学者への授業料、施設設備費、冷暖房費半額免除。</p> <p>③外国人留学生に対する経済的支援を目的とし、修業年限内において、授業料の30%を免除することがある。特に必要と認める場合は50%免除することがある。</p> <p>・ 必要手続等</p> <p>①休学願いの提出。研究科委員会審議を経て学長が許可。</p> <p>②留学規程に基づく申請。研究科委員会審議を経て学長が許可。</p> <p>③外国人留学生に対する授業料減免規程に基づく申請、全学学務委員会選考を経て学長が決定。</p>					

(8) 学生支援と奨学金に関する情報

支援項目	組織名	機能
就職支援	就職部 就職課	・学生の就職指導及び相談 ・ATOMIインターンシップに関する事務 ・その他
進学支援	就職部 就職課	・他大学大学院への進学に関する相談
	入試部 入試課	・跡見学園女子大学大学院への進学に関する事務
履修支援	学務部 教務課	・履修オリエンテーション及びガイダンスの実施
	アカデミック アドバイザー	個々の学生の問題意識を顕在化させ、履修意欲を明確化させるための指導援助を行い、その学生に最適のコースの組み合わせを選択させ、あるいは個々の学生に固有のカリキュラムを幅広く解放された授業科目群の中から設計するに当たっての指導援助を行う。
生活支援	学務部 学生課	・学生の生活相談及び厚生補導 ・学生会活動及び課外活動の指導・助言 ・寮、下宿の斡旋 ・学生寮、合宿舎の管理運営及び合宿生の生活指導
国際交流支援	事務局 国際交流課	・海外語学研修の実施 ・留学に関する相談 ・その他国際交流活動に関する相談
経済支援	学務部 学生課	・奨学金に関する事務
保健・衛生・メンタルヘルス等	学務部 学生課 保健センター	・学生の定期健康診断の実施 ・学生の健康相談 ・保健・環境衛生に関わる知識の普及 ・応急処置 ・カウンセリング ・その他

奨学金の名称	概要	金額 (年額)	返還有無	採用人数	対象学年
<b>【学業奨励賞】</b>					
跡見花蹊記念奨学金	各学年・各学科の前年度学業成績上位者より選考し、表彰・奨学金給付	授業料の一学期分相当額	無	学部71名 大学院2名 (H26年度実績)	学部2～4年生 大学院2年生
跡見校友会一紫会大学院奨学金	各専攻の前年度学業成績上位者より選考し、表彰・奨学金給付	授業料の一学期分の二分の一相当額	無	大学院3名 (H26年度実績)	大学院2年生
<b>【修学援助奨学金】</b>					
跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金	(第一種) 家計急変のため学費の納入ができない者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 (第二種) 恒常的低収入などの理由により学費の納入が困難な者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。	(第一種) 授業料の一学期分  (第二種) 授業料の一学期分の半額	無	(第一種) 学部7名 (H26年度実績)  (第二種) 学部50名 (H26年度実績)	学部1年次秋学期以降在籍者

奨学金の名称	概要	金額（年額）	返還有無	採用人数	対象学年
跡見校友会一紫会 修学援助奨学金	(第一種) 家計急変のため学費の納入ができない者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。 (第二種) 恒常的低収入などの理由により学費の納入が困難な者で、修学の見込みがあると認められた者に対し、困窮度の高い者を優先して奨学金を給付。	(第一種) 授業料の一学期分  (第二種) 授業料の一学期分の半額	無	(第一種) 学部0名 (H26年度実績)  (第二種) 学部5名 (H26年度実績)	学部2年次以降在籍者
日本学生支援機構 奨学金	人物・学業ともに優れかつ健康であって経済的理由のため修学困難な学生に対し奨学金を貸与。 (第一種) 返還時無利子 学力基準有り 本人の属する世帯の1年間の認定所得金額が、日本学生支援機構の収入基準額以下であること (第二種) 返還時有利子 学力基準は、学修に意欲があり学業修了見込みのあるもの 本人の属する世帯の1年間の認定所得金額が、日本学生支援機構の収入基準額以下であること	貸与月額 (第一種) 自宅生：30,000円 または54,000円 自宅外生：30,000円 または64,000円  (第二種) 30,000、50,000、80,000、100,000、120,000円から選択	有		

## (2) 女子大学の実績

(〈※〉印は平成26年度事業計画事業)

### (1) 教育研究関係

#### 1) 新学部設置の申請と新教育課程の実現 〈※〉

##### ①観光コミュニティ学部（仮称）の構想から設置申請へ 〈※〉

平成23年1月26日第1回将来問題検討会議の開催から検討を重ね、平成24年2月新学部設置に向けた新学部設置準備委員会を設置し、本学に社会学系学部の設置に向けた検討を行ってきた。「観光デザイン学科」ならびに「コミュニティデザイン学科」の2学科を擁する新学部「観光コミュニティ学部」を設置する案を理事会・評議員会に提出し承認された。

平成26年5月26日文科科学大臣へ「観光コミュニティ学部」の設置認可申請書を提出。

平成26年10月31日文科科学大臣より、設置認可された。

##### ②既存学部学科の再構築 〈※〉

入学定員の異動、グローバル化への対応、学士課程教育の質の保証への対応等に伴い、平成26年3月の理事会・評議員会において、平成27年度教育課程の変更が承認され、文科科学省に申請を行った。

##### ③大学院カリキュラムの再検討 〈※〉

平成26年3月の理事会・評議員会において、マネジメント研究科の入学定員の変更、及び平成27

年度教育課程の変更を含む大学院学則の一部改正が承認され、平成26年7月に文部科学省に届出を行った。

## 2) 平成27年度教育課程に相応しい諸規程の整備 (✿)

「跡見学園女子大学研究倫理に関する規程」及び「「跡見学園女子大学研究倫理審査委員会」の運用に関する内規」を施行した。

また、諸規程の見直しを実施し、「跡見学園女子大学大学評議会規程」、「跡見学園女子大学教授会規程」、「跡見学園女子大学大学院研究科委員会規程」、「跡見学園女子大学学位規程」、「跡見学園女子大学大学院履修規程（平成27年度入学者より適用）」、「跡見学園女子大学においてティーチングアシスタントを配置する授業科目を定める規則」、「跡見学園女子大学履修規程」、「成績の評価及び単位の認定に関する規程」、「跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金規程」、「跡見校友会一紫会修学援助奨学金規程」、「学生団体の公認に関する規程」、「跡見学園女子大学全学共通科目運営センター規程」、「跡見学園女子大学図書館規程」、「他の大学等における履修、大学以外における学修及び入学前の既修得単位等の認定に関する規程」、「転部及び転科に関する規程」、「跡見花蹊記念奨学金（学業奨励賞）規程」、「跡見花蹊記念奨学生選考内規」、「跡見校友会一紫会大学院奨学金（学業奨励賞）規程」、「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」等を改正した。

### ①学内規定を整備するための組織の立ち上げ (✿)

平成26年10月諸規程検討委員会を立ち上げた。

平成26年6月27日に「学校教育法」の改正、同年8月29日に「学校教育法施行規則」の改正が公布され、いずれも平成27年4月1日から施行されることとなった。この改正は、学長のリーダーシップの下で戦略的に大学を運営できるガバナンス体制を構築することが重要であるとし、大学の組織及び運営体制を整備するため、副学長の職務内容を改めるとともに、教授会の役割を明確化するなどの趣旨により行われたものである。

これにより、本学においても、学長のガバナンス体制の強化、教授会、大学評議会の役割の明確化等のため、「跡見学園女子大学学則」「跡見学園女子大学大学院学則」を改正した。

あわせて「学長選考委員会規程」、「学長選考委員会運営規程」、「学長及び副学長の職務及び任期、並びに学部長及び部館長等の任期及び選任等に関する規程」を制定し、平成27年4月1日から施行することとした。

## 3) 教育支援 (✿)

### ①「純粋ゆとり教育世代」と修学支援体制の整備 (✿)

学生生活全般にかかわるさまざまな修学支援は年々必要性を増している。学生、保証人からの当該問い合わせに対しては、従来、両キャンパスの教務課職員、学生課職員、保健センターの保健師や看護師、校医、学生相談室のカウンセラーが相互に連絡をとりつつ対応している。

平成26年度においては、「保健センターだより」の発行を年間2回（平成25年度まで）から4回に増やし、何らかの問題や不安を抱える学生への対応を迅速に行えるように配慮した。また、職員が得た情報を、学生の求めに応じて、アドバイザー等の関係教員にも情報共有するなど、よりきめ細かな対応をとった。

これら関係者間の連絡とその後のケアについては定期的にフォローする体制の構築が必要であることが課題として指摘できる。

また、平成27年度教育課程においては、前期課程の外国語科目選択区分に新設科目「英語再入門A」、「英語再入門B」を設け、基礎的な英語力を確実に修得させることを目指している。

### ②新教育課程に対応する修学支援体制の検討 (✿)

平成27年度導入開始を目指し、平成26年度中に教学システムの変更を行った。新システムでは、各学生の履修、成績、学生生活全般の情報をまとめて閲覧できるスチューデント・プロファイル

グ機能が充実している。新システムへの移行説明を遺漏無く行う必要があるが、新システムが稼働することで新教育課程に対応する修学支援体制も従来以上に機能することが期待される。

③ F D活動の継続実施

全学教育・研究支援委員会、全学共通科目運営センター、各学部においてF Dシンポジウム・F D講演会等を継続的に実施した。また、F D実践報告集として『F Dジャーナル』（第13号）の編集作業を行った。

④ 跡見英会話サロン（5年目）

英語の授業で英会話スキルを修得した学生や海外語学研修に参加した学生に対して、その後も大学内でそのスキルを実践する場を大学として提供するため、ベルリッツ・ジャパン（株）との業務委託により「跡見英会話サロン」を開設し、学生に広く活用された。

4) 研究支援〈❖〉

① 研究支援のための職員機能の充実〈❖〉

大学事務局庶務課の職員2名体制で学内助成に関する業務を行った。学内研究助成に関する業務の円滑な遂行が図られた。

また、教育研究業績入力システムを再構築し、入力、確認、情報公開の利便性向上に取り組み、平成26年度末から新システムを稼働させた。

② 公的研究費獲得の支援〈❖〉

平成26年度の新規採用は、寺本敬子助教（文学部人文学科）、山口豊一教授（文学部臨床心理学科）と馬咲子准教授（マネジメント学部マネジメント学科）の3名であった。継続課題の5名も含めると計8名となった。

平成22年度より実施している学長主催の科研費の学内説明会を、平成26年9月3日（水）に開催した。参加者は教員・職員合計で14名であった。山口豊一教授（文学部臨床心理学科）、笠原清志教授（マネジメント学部マネジメント学科）が、科研費に応募する際に提出する研究計画調書を作成する際の注意事項について講演し、事務局から公的研究費の不正使用防止に関する方針について説明がなされた。

その結果、平成27年度の新規申請は、基盤研究（B）に2名、基盤研究（C）に4名の合計6名となった。

平成26年度科学研究費助成事業（日本学術振興会）

	学部・職名	氏名	研究種目	研究期間	H25 直接経費 (円)	研究課題名
新規	文学部 助教	寺本敬子	若手研究 (B)	H26—28	900,000	近現代にバリ万国博が果たした役割についての実証的研究：万国博組織委員会を中心に
	文学部 教授	山口豊一	基盤研究 (C)	H26—28	800,000	学校コミュニティでの心理職活用を促進する学校マネジメントシステムの開発
	マネジメント学部 准教授	馬 咲子	基盤研究 (C)	H26—29	1,100,000	大規模災害で被災した子どもの貧困防止策—給付の在り方を中心として

	学部・職名	氏名	研究種目	研究期間	H25 直接経費 (円)	研究課題名
継続	文学部 教授	酒井佳永	基盤研究 (C)	H25—27	800,000	気分障害患者の家族を対象としたテイラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究
	マネジメント学部 教授	山澤成康	基盤研究 (C)	H25—27	600,000	東日本大震災後の地域景気動向の把握-月次の都道府県別 GDPの推計
	マネジメント学部 准教授	丹野忠晋	基盤研究 (C)	H25—27	1,100,000	医療用医薬品流通の経済分析
	マネジメント学部 准教授	内村理奈	基盤研究 (C)	H24—26	1,200,000	近世・近代フランスの服装規範に見られるジェンダー観
	マネジメント学部 助教	井口 衡	若手研究 (B)	H25—26	800,000	サプライチェーンを通じた環境負荷削減行動に関する実証分析

平成26年度環境経済の政策研究（環境省）

	学部・職名	氏名	研究期間	H26 研究費	研究課題名
継続	マネジメント学部 助教	井口 衡	H24-26	688,923円	新たな市場メカニズムの国際比較及び二国間オフセット・クレジットメカニズムの排出削減効果等の分析

③教員評価結果の検証

平成26年度においても引き続き、「教員の自己点検評価シート」により、平成25年度の専任教員の教育・研究業績等について自己点検を実施し、全学自己点検・評価委員会において検証を行った。また、個々の専任教員による現状把握と改善を目的として、平成24年度の教員の自己点検評価に関する検証結果を各教員にフィードバックした。

5) 学生支援

①学生会による学長と語る会の実施

平成26年 6月18日（水）、13時より新座キャンパス及び文京キャンパス（中継）にて開催され、「新しい語学の授業に関して」「トレーニングルームの設置について」「食堂メニューのアレルギー表示について」等、要望が出された。

②一紫会、後援会による修学援助奨学金

イ) 一紫会による修学援助奨学金の継続

	申請者	採用者
第一種	1	0
第二種	17	5

ロ) 後援会による奨学金の継続

春学期

	申請者	採用者
第一種	6	5
第二種	18	18

秋学期

	申請者	採用者
第一種	2	2
第二種	32	32

一紫会ならびに後援会修学援助奨学金申請者のうち採用されなかった学生は、  
春学期 第1種 1名 第2種 0名

秋学期 第1種 1名 第2種 8名であった。

③就職支援体制の全学的取り組み

就職活動を乗り越えてきた4年生内定者を「ATOMI就活サポーターズ」として組織、3年生への相談・アドバイス窓口とした。さらにサポーターズによる就職後の在学生支援を展望したOG会員としての組織化も進めている。

④防災関係

(両キャンパス共通)

- ・学生配布用「大地震対応マニュアル」を作成し、第1学年と第3学年の学生に配布した。
- ・災害時防災備蓄用品として防災機器、防災用品、医療用品、衛生用品をキャンパス内に追加配置した。
- ・平成26年9月22日(月)文京キャンパス・新座キャンパス合同防災訓練を行った。

文京キャンパスでは総合防災訓練の後、煙ハウス体験、地震体験を実施、更に東京都助産師会文京地区分会の協力を得て、学生ボランティアとともに母子救護所開設シミュレーション(開設から運営まで)を実施した。新座キャンパスでは、煙体験ハウスによる火災時の避難体験を実施した。

(2) 管理・運営

1) 大学の運営・管理体制の充実〈✿〉

学長のリーダーシップの下で戦略的に大学を運営できるガバナンス体制を構築することが重要であるとし、大学の組織及び運営体制を整備するため、副学長の職務内容を改めるとともに、教授会の役割を明確化するなどの趣旨により学校教育法の改正が行われた。これにより、本学においても、学長のガバナンス体制の強化、教授会、大学評議会の役割の明確化等のため、「跡見学園女子大学学則」「跡見学園女子大学大学院学則」を改正。平成27年度から、副学長を2名体制とした。

2) 学園横断的事務組織の構想〈✿〉

文京キャンパス拡充計画の中で、法人組織も含めた、より効率的・機動的組織体制の確立を目指す。

3) 自己点検評価報告書の作成と点検評価〈✿〉

平成26年度は、副学長と全学自己点検・評価委員会が中心となり、平成27年度の大学評価に向けた自己点検・評価報告書の制作を全学的に進めた。進行状況は以下の表のとおりである。

全学自己点検・評価委員会では、平成26年3月26日に各執筆者から提出された第1稿を受け、平成27年2月28日まで自己点検・評価報告書の校正を進めた。制作にあたっては、平成20年度の自己点検・評価後の大学改革の経緯、さまざまな新規事業等に関する膨大にして細かな事実確認が要求されるため、正規委員4名、大学評議員1名に加え、新たに協力委員を3名迎え、体制を強化して精力的に活動を行った。平成26年2月26日から始まった今年度の委員会開催回数は30回を数え、総会議時間は85時間に及ぶ。

副学長は、委員会が制作した自己点検・評価報告書を平成27年3月上旬にかけて最終確認し、報告書を完成させ、平成27年3月28日に大学基準協会へ報告書及び各種添付資料を提出した。

日程	進行状況
平成26年2月26日(水)	平成26年度第1回全学自己点検・評価委員会を開催、今後の進行について確認
平成26年3月26日(水)	部館局長・一部の委員会委員長が、執筆者として自己点検・評価報告書の執筆を分担し、第1稿を全学自己点検・評価委員会に提出
平成26年4月～7月	委員会が第1稿を確認し、随時執筆者に修正依頼
平成26年7月31日(木)	各執筆者が委員会へ第2稿を提出
平成26年9月～12月	委員会において、第2稿・第3稿を制作

平成26年12月4日(木)	大学基準協会の事前相談
平成26年12月5日(金)～平成27年1月14日(水)	事前相談を受けて、委員会において第3稿を修正、自己点検評価・報告書(草案)及び各種添付資料を制作
平成27年1月15日(木)	大学基準協会へ平成27年度の大学評価を申請 自己点検・評価報告書(草案)及び各種添付資料を提出
平成27年1月16日(金)～2月12日(木)	委員会において、草案を修正
平成27年2月13日(金)	大学基準協会から申請の受理の通知
平成27年2月14日(土)～2月28日(土)	大学基準協会の受理通知に付された修正の指示を受けて、委員会でさらに草案を修正
平成27年3月2日(月)～3月20日(金)	副学長による自己点検・評価報告書及び各種添付資料の最終確認
平成27年3月28日(土)	大学基準協会へ、「自己点検・評価報告書」及び各種添付資料を提出

#### 4) 図書館・情報メディアセンターの連携(✳)

図書館長、情報メディアセンター長を兼務とし、管理運営上の連携体制を整備した。

図書館・情報メディアセンターの連携の一環として、図書館主催講演会を初めて情報メディアセンターと共同開催した。この講演会では、図書館界における最新の話題をテーマに掲げて開催しており、今回が第5回目である。

概要は以下の通り。

開催日：平成26年6月11日(水) 午後1時～2時30分 (講演：1時間、質疑：20分)

講演テーマ：「電子図書は何をどこまで変えるか」

講師：株式会社日本電子図書館サービス 取締役 野田透氏

主催：図書館、情報メディアセンター(共同開催)

会場：新座図書館視聴覚ホール

\*なお、当日は文京キャンパスと中継を結び、実施。文京キャンパス会場：2308教室

参加者：新座キャンパス(教員17名を含む)30名 文京キャンパス6名

### (3) 施設設備・情報環境整備関係

#### 1) 文京キャンパスの拡充(✳)

文京区との連携を深めつつ、文京キャンパスに隣接する用地の取得を目指し、そのための準備を行う。

#### 2) 文京キャンパスに近接した新学生寮の建設(✳)

本学園保有の音羽駐車場跡地(文京区大塚2-10-4)に新学生寮「メゾン音羽」(地下1階・地上4階 2,428.31㎡ 94名収容)の建設工事を平成26年6月より着工し、平成27年3月13日に完成。3月17日に竣工式を挙行了。平成27年4月1日より開設する。

#### 3) 施設環境の整備

##### ①事業計画の事業

\*女子大学関係のなかで「新」は新座キャンパス、「文」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
<b>新) 仮設校舎の解体</b> 新学科増に伴う学生数の増加や大規模教室の不足に対応するため、平成18年度より3年リース予定で仮設校舎を設置し、その後5年間再延長を繰り返していたが、賃料および今後のメンテナンス費用等を考慮し、リース契約を終了し、解体撤去を行った。	11,955	4月

事業項目	事業費	実施時期
新) 第1変電所V C B更新工事 設置から22年が経過し、劣化が懸念された第1変電所のV C B 5台の更新工事を行った。	4,428	7月
新) 1号館系統市水受水槽更新工事 上水系統の受水槽が老朽化し、突発的な故障による長期的な利用停止のリスクが高まっていたため、夏期休暇中に当該系統を1週間弱断水とし、更新工事を行った。	6,920	8月
新) 合宿舎給湯器更新工事 重油焚きボイラーが老朽化し、割高な点検費用の発生や操作上の不便もあったため、操作が容易で既存のプロパン設備を利用できるガス給湯器を設置した。	616	8月
文) 2号館照明制御バッテリー交換 照明制御盤のUPSバッテリーが寿命を迎えたため、交換を行った。	508	8月
新) 図書館空調設備改修工事(第1期・2階) 機器の設置から20年以上が経過し、老朽化が進行、修理部品も順次在庫切れとなる状態となっていたため、改修工事を行った。2階特別資料室と繋がっていた、1階展示室、LALA1室も更新を行った。	64,163	8・9月
新) 新学部設置に伴う1号館一般教室AV機器・PC・什器設置 1号館一般教室(6室)にAV機器・PC・什器を設置した。	14,473	8月
新) 新学部設置に伴う2号館観光デザイン学科研究室PC・什器設置 2号館2階講義室を観光デザイン学科研究室に用途変更しPC・什器を設置した。	2,004	8月
文) 新学部設置に伴う1号館観光デザイン学科個人研究室整備、PC・什器設置 1号館3階演習室(5室)に間仕切り壁を設け、観光デザイン学科個人研究室に用途変更しPC・什器を設置した。	11,524	8月
文) 新学部設置に伴う3号館観光デザイン学科研究室PC・什器設置 3号館観光デザイン学科研究室にPC・什器を設置した。	967	8月
文) 新学部設置に伴う3号館観光デザイン学科実習室PC・AV機器設置 3号館1階談話室を観光デザイン学科実習室に用途変更しPC・AV機器を設置した。	357	3月
新) 新学部設置に伴う1号館観光コミュニティ学部長室PC・什器設置 1号館1階小会議室を観光コミュニティ学部長室に用途変更しPC・什器を設置した。	385	3月

## ②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
文) 1号館視聴覚ホール電動暗幕モーター交換 電動暗幕モーターが老朽化し、開閉に支障を来している箇所があったため、8箇所中、4箇所の交換を行った。	904	5月
新) 1号館トイレ漏水補修工事 1期棟の階段踊り場トイレ(男性用3、4階)の大便器スラブ埋設給水管より漏水が生じていたため、露出配管として便器ごと交換した。	659	6月
新) 守衛所空調機更新 空調機が故障し、修理規模が大きいこと、運転時間が長く機器全体の老朽化が進行していたことから、更新を行った。	497	6月
新) 第1、第2変電所 高圧機器更新工事 6月に第2変電所系統で発生した停電の要因と疑われる第1、第2変電所の一部高圧機器について、V C B更新に合わせて更新を行った。	6,048	7月
新) 第2変電所漏電リレー4台交換工事 低圧側の漏電リレー4ヶ所で作動不良が確認され、漏電の検知に支障が生じていたため、年次検査に合わせて交換を行った。	530	8月
新) 第1変電所V C B操作スイッチ・補助リレー交換 7月に行った高圧機器更新工事の際に、第1変電所V C Bの操作スイッチや補助リレーにも老朽化の進行が確認されたため、年次検査に合わせて交換を行った。	1,026	8月
新) 1号館管理棟屋上一部防水工事 管理棟の屋上防水の劣化が進行していたため、特に漏水の著しいホールから1130会議室屋上の防水工事を行った。	3,564	8月

事業項目	事業費	実施時期
新) 浄化槽整備 安定的な運転を担保するため、劣化の見られる箇所、所定の年数に達した機器について修繕整備を行った。	4,752	9月
新) 第2変電所系統高圧ケーブル引替工事 10月30日にケーブル地絡により第2変電所系統が停電となったため、当日に約300mのケーブルを仮設復旧し、12月7日に埋設ケーブルとして敷設工事を行った。	7,333	10月 12月
新) 4号館屋上キュービクルV C B 1台交換工事 12月7日にケーブル敷設工事のため全館停電としたが、復電時に4号館屋上キュービクルのV C B 1台が復電しなかったため、12月21日に交換を行った。	993	12月
新) 4号館西研究室系統空調室外機修理工事 3～5階西側15研究室系統の空調室外機が故障したため、修理を行った。	692	1月

## 4) 情報環境の整備

## ①事業計画の事業

\*女子大学関係のなかで「新)」は新座キャンパス、「文)」は文京キャンパスを示す。

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
事務用PC(図書館含) 更新 WindowsXPのサポート期間が終了(2014年4月)するため、大学事務用PC(図書館含)の更新を行った。	32,280	4月
事務用PC(図書館含) 更新に伴う図書館周辺機器購入 事務用PC(図書館含)の更新に伴い、新規OSに適した図書館で必要となる周辺機器を購入し、導入作業を行った	987	4月
新) ネットワーク用UPS交換 基幹スイッチ用UPS6台について、全て耐用年数に達したため交換を行った。	1,294	8月
文) 一般入試用マークシート読取機(OMR)更新 入試課で使用しているOMR(光学式マーク読取装置)について、メーカー保守終了に伴い機器の更新を行った。	1,434	7月
新) 1号館2階AVスイッチャー更新 4教室(1212・1213・1214・1215)のAV機器を制御するスイッチャーについて、老朽化により故障が多発しているため機器の更新を行った。	1,836	4月
新) 1号館1308教室スクリーン交換 経年劣化により、貼り込みスクリーンから手動式スクリーンへ交換を行った。	389	9月
文) 2号館 Blossom Hall 遠隔カメラ設置 新座キャンパス花咲メモリアルホールなど、学内及びキャンパス間との同時中継を行うため、文京キャンパス Atomi Blossom Hall にテレビ会議端末を設置した。	1,242	8月
新) 1号館(3室) AV設備設置 5号館校舎取り壊しに伴い、1号館3部屋(1405・1406・1503)を代替教室とするため、AV設備の整備を行った。	7,770	4月
新) 1号館PC教室・文京2号館PC教室他更新 リース期間満了及びWindowsXPのサポート期間終了(2014年4月)に伴い、新座キャンパス1号館PC教室3部屋(1217・1309・1314)、文京キャンパス2号館PC教室4部屋(M2303・M2307・M2403・M2408)及び2号館一般教室PCについて機器の更新を行った。	141,452	4月
新) 1号館印刷室印刷機更新 印刷機のリース期間満了に伴い、機器の更新を行った。	5,390	4月
文) 1号館教員研究室印刷機更新 印刷機のリース期間満了に伴い、機器の更新を行った。	756	4月
新) 図書館事務室複合機更新 印刷複合機のリース期間満了に伴い、機器の更新を行った。	918	4月
文) 図書館複合機更新 印刷複合機のリース期間満了に伴い、機器の更新を行った。	702	4月

事業項目	事業費	実施時期
新) 2号館臨床心理学科研究室印刷機更新 印刷機のリース期間満了に伴い、機器の更新を行った。	495	4月
文) 2号館事務室コピー機更新 コピー機のリース期間満了に伴い、機器の更新を行った。	918	4月

## ②それ以外の事業

なし

## 5) 大学施設利用

## ①学術・学会等関係（主な大会の開催等）

文京キャンパスの利便性の良さと良好な施設・設備が学術学会、団体等に支持され、多くの大会等が開催された。

主な学会等

学会および大会名など	開催年月日	参加者数
日本民族学会修士論文発表会	平成26年 5月11日	約150名
環境経営学会理事会	平成26年 5月14日	約30名
国際服飾学会研究会・理事会	平成26年 7月12日	約60名
日本心理研修センター研修会	平成26年 8月 9日、10日	約450名
中小企業診断士 2次試験	平成26年10月26日	約1,500名
日本学校心理学会研修会	平成26年11月 2日	約200名
日本スクールカウンセリング推進協議会研修会	平成26年11月16日	約150名
中野重治の会	平成26年12月13日	約50名
日本医療保育学会研修会	平成27年 1月11日	約100名
日本産業カウンセリング学会 (スーパーバイザー養成講座)	平成26年 5月 3日、4日 平成27年 3月14日、15日、21日、22日	約20名
環境経営学会理事会	平成27年 2月 5日、3月20日	約60名
日本食生活学会	平成27年 2月28日	9名

## ②本学主催・後援による主なシンポジウムや講演会

会名など	開催年月日	参加者数
朗読コンテスト（主催：文京区）	平成26年10月 5日	約300名
マネジメント学部キャリアデザイン講演会	平成26年11月21日	約350名
国際ウィメンズメンタルヘルス学会市民公開講座	平成27年 3月21日	約300名

## (4) 保護者サービス 〈✳〉

## 1) 保護者への情報公開

保護者に対して、「跡見学園女子大学学報」を送付したほか、学園広報誌「Blossom」を送付。

また、以下により保護者に情報を発信した。

## ①保護者対象大学説明会の継続 〈✳〉

前年度に引き続き、「保護者説明会」を5会場で実施した。

	年月日	会場	場所	参加者数
イ) 学外会場	平成26年8月30日(土)	高崎会場	ホテルメトロポリタン高崎	17名
	平成26年8月31日(日)	新潟会場	ホテルオークラ新潟	14名
	平成26年9月6日(土)	宇都宮会場	チサンホテル宇都宮	13名
	平成26年9月7日(日)	仙台会場	ホテルJALシティ仙台	5名
ロ) 学内会場	平成26年10月18日(土)	学内会場	文京キャンパス2号館	317名

②学生の単位修得状況の通知〈✳〉

平成26年度春学期の成績（成績通知書）については、9月30日付けで全学生の保証人に郵送した。また、秋学期の成績については、3月30日付けで全学生の保証人に郵送した。

③就職課の主催により3年生の保護者を対象とする「保護者のための就職セミナー」を開催した。

開催日 平成26年9月13日(土)

会場 文京キャンパスプロッサムホール

参加者数 213名

(5) 広報・学生募集

1) 広報

大学が行う広報は、高校生・保護者を対象とした入試広報に限ることなく、大学の行う諸活動を広く社会に発信した。また、企業の採用担当者を対象とした就職懇談会は学園広報委員会の協力をうけ開催した。

①学園「広報委員会」との連携〈✳〉

広報委員会との連携により、オープンキャンパスで配付する跡見グッズを制作。また、進学情報誌、新聞広告、雑誌広告、交通広告等の企画を実施した。11月29日実施の新学部開設記念シンポジウムの前後には朝日新聞に広告を展開。大学名のロゴの修正も実施した。

②新学部設置に伴う特別広報〈✳〉

新学部設置に伴い、プロモーションビデオの制作、パンフレット・チラシの制作、進学情報誌・進学情報WEBサイト・新聞等への広告掲出、ダイレクトメールの発送等の企画を実施した。また、11月29日には新学部開設記念シンポジウムを開催。400名を超える来場者が参加した。

③学部学科理念の確認

「跡見学園女子大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「文学部 学位授与の方針」及び「マネジメント学部 学位授与の方針」について、平成26年度も学生便覧・大学公式サイトに掲載し、周知に努めた。

併せて、「跡見学園女子大学 カリキュラム編成の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「跡見学園女子大学文学部 カリキュラム編成の方針」及び「跡見学園女子大学マネジメント学部 カリキュラム編成の方針」についても、学生便覧・大学公式サイトを通じて学内外に周知した。

また、平成26年度に各学科・研究科別に3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）を制定し、大学公式サイトを通じて周知に努めた。

④桜まつり

平成27年3月28日(土) 一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を開催した。来場者数は626名（うちオープンキャンパス来場者300名）であった。

⑤就職懇談会

企業の採用担当者を対象に、これから就職活動期を迎える学生も参加する就職懇談会を開催した。第一部は就職担当教職員による説明会と学生による問題解決型（PBL型）インターンシップ報告会を、第二部は懇談会を実施した。

開催日 平成26年11月11日（火）  
 出席状況 企業160社、学生127名、法人・大学20名。  
 会場 文京キャンパスブロッサムホール、3号館アリーナ

## 2) 学生募集

### ①新学部設置に伴う学生募集〈✿〉

平成26年10月31日の新学部設置認可を受け、11月1日より学生募集を開始した。

#### イ) 入学試験日程・実施方法の公表・周知

ホームページ上で入学試験日程・実施方法を公表し、接触者全員に入学願書を送付

#### ロ) 新学部入試説明会の開催

第1回 日時 平成26年11月15日（土） 13：30～17：00

場所 文京キャンパス

参加 142名

第2回 日時 平成26年12月6日（土） 13：30～17：00

場所 文京キャンパス

参加 53名

#### ハ) 高校訪問

新学部の設置認可報告および入試概要周知のため、入試アドバイザーによる高校訪問を実施した。

訪問時期 平成26年11月6日～21日

訪問校数 107校

### ②入学試験日程の変更〈✿〉

一般入試の志願者増を図るため、旧一般入試A1方式・2日間を分割し、第1回を1月25日（日）、第2回を2月1日（日）に日程変更し実施した。

#### イ) 入試種別ごとの募集定員の変更

学部学科入学定員の変更に伴い、入試種別ごとの募集定員を変更した。

入学定員（学部全体） 870名 → 970名

A O入試（募集定員） 140名 → 180名

推薦入試（募集定員） 310名 → 320名

一般入試（募集定員） 420名 → 470名

#### ロ) 一般入学試験の日程および名称の変更

一般入試A1方式（A1-1） → 一般入試A1方式（◆日程を2/1から1/25に変更）

一般入試A1方式（A1-2） → 一般入試A2方式（◆日程を2/2から2/1に変更）

一般入試A2方式 → 一般入試B1方式

一般入試A3方式 → 一般入試B2方式

一般入試B1方式 → 大学入試センター試験利用入試Ⅰ期

一般入試B2方式 → 大学入試センター試験利用入試Ⅱ期

#### ハ) 観光コミュニティ学部の入学試験を平成26年11月より実施

A O入試（一般A O、論文A O、3月期）

推薦入試（指定校、公募、優先）

一般入試（A1、A2、B1、B2）

### ③高校教員対象大学説明会

高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

開催日 平成26年6月10日（火）

開催時間 15:00～17:30  
 会場 文京キャンパス (M2304教室)  
 参加者数 37名

④オープンキャンパス・新学部説明会

<新座キャンパス>

開催日 平成26年3月29日(土)  
 6月1日(日)  
 7月27日(日)  
 8月3日(日)  
 11月1日(土)  
 11月2日(日)

<文京キャンパス>

開催日 平成26年6月21日(土)  
 7月20日(日)  
 8月17日(日)  
 8月23日(土)  
 10月4日(土)  
 11月15日(土)\*  
 11月23日(日)  
 12月6日(土)\*  
 \*新学部説明会

参加者数 4,752名(受験生2,769名、保護者他1,983名)平成25年度比 110.6%

⑤跡見学園中学校高等学校対象の大学説明会

跡見学園中学校高等学校の生徒・保護者を対象とした大学説明会を行った。

開催日 平成26年6月13日(金)  
 開催時間 15:30～17:00  
 会場 文京キャンパス (M2304教室)  
 参加者数 59名

⑥入試アドバイザー制度

平成26年度は入試アドバイザーによる高校訪問を3回行い、志願者の確保に努めた(他に、指定校推薦3月期の学生募集のため、執行部・管理職職員等による第4回高校訪問を実施した)。

訪問校数 546校  
 アドバイザー数 101名  
 訪問時期 ・1回目 平成26年6月～7月  
 ・2回目 平成26年9月～10月  
 ・3回目 平成26年11月(訪問は107校、その他は電話連絡)  
 ・4回目 平成27年2月(訪問は107校)

(6) 学外団体との交流

1) 国内団体との交流

①図書館の相互利用 <✳>

イ) 文京区内大学との交流

お茶の水女子大学附属図書館と相互利用に関する覚書を結び、平成21年4月から図書館を相互利用している。平成25年11月1日より新たに日本女子大学図書館と相互利用に関する協定を結

び、図書館相互利用を開始した。平成26年度も引き続きお茶の水女子大学附属図書館および日本女子大学図書館と相互利用を実施している。

ロ) 埼玉県内大学との交流

十文字学園女子大学図書・情報センターと図書館の相互利用に関する覚書を結び、平成24年4月から図書館を相互利用している。平成26年度も引き続き相互利用を実施している。

② マネジメント研究科と立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科との交流

2007年に締結、2012年に更新した両大学院研究科間の単位互換制度を継続した。

③ 埼玉県私立大学連絡協議会の継続

埼玉県私立大学連絡協議会の諸活動を通じて、埼玉県及び県内大学との交流を推進した。

④ 彩の国大学コンソーシアム

「単位互換分科会」、「公開講座分科会」に継続して所属。

イ) 2014年彩の国大学コンソーシアム公開講座 ～知的、快適生活のススメ～

平成26年9月12日(金) 13:20～14:40 於:川越西文化会館メルト

演題「舞台<ライブ>が拓く共創マネジメントの時代

—文化・エンタテインメント領域の新たな価値戦略を探る—

講師 マネジメント学部マネジメント学科 曾田修司教授

受講者数 64名

ロ) 公開講座分科会

平成26年12月5日(金) 於:大東文化大学

ハ) 実務者会

平成27年3月27日(金) 於:川越プリンスホテル

⑤ 高等学校との交流

高等学校での出張講義を25校で実施した。

2) 国外団体との交流

① 海外語学研修拠点大学の拡大(教育)〈✿〉

国立政治大学(台湾)と友好協定(4月29日)、及びロイヤルローズ大学(カナダ)と基本協定(4月22日)を、それぞれ締結した。なお、西部カトリック大学(フランス)との協定締結も内定している。国際交流の一環として語学研修等を実施した。

夏期

・英国国立スターリング大学(イギリス)

期間 平成26年8月3日(日)～9月3日(水)

参加者 52名

・国立政治大学(台湾)

期間 平成26年8月3日(日)～8月26日(火)

参加者 6名

・ロイヤルローズ大学(カナダ)

期間 平成26年8月11日(月)～9月8日(月)

参加者 10名

春期

・英国国立スターリング大学(イギリス)

期間 平成27年2月11日(水)～3月29日(日)

参加者 13名

・埼玉県和光市からの依頼に基づき、和光市の姉妹都市にあるローワーコロンビアカレッジ(アメリカ合衆国ワシントン州ロングビュー市)への学生派遣を行なった。

期 間 平成27年2月15日（日）～3月8日（日）

参加者 6名

②海外の大学との学術交流（研究）〈✿〉

- ・ビシケク人文大学（キルギス共和国）と交流事業の一環として日本文化に関する書籍を寄贈（平成26年7月、平成27年3月）した。
- ・ビシケク人文大学（キルギス共和国）から講師を招き、第1回学術講演会を実施した。

日 時 平成26年7月31日（木）16：40～18：10

場 所 文京キャンパス2号館 M2301教室

講 師 氏原名美教授

（ビシケク人文大学 東洋国際関係学部日本語日本文学科 学科長）

③国際交流センター構想の検討〈✿〉

「外国語教育センター」とのすみわけを行ないつつ、大学の国際化に寄与する独立した組織体制の在り方を検討中である。

(7) 地域との交流・地域貢献

1) 文京区との提携の拡充〈✿〉

文京区との協定に基づき、様々な活動を展開した。とりわけ「シニアプラザ事業」は初年であったにも関わらず、活発な交流が行われた。この事業の最大の目的は、高齢者からの知恵を授かり、学生からは若いエネルギーをもらう双方向の取り組みであること。この取り組みは東京都健康長寿医療センターから世界でも類を見ない成功例として注目された。

①文京区との地域連携（本学学生との多世代交流）

平成26年4月26日（土）	平成26年度「シニアプラザ事業」オープニングセレモニー特別イベント 文京区高齢者クラブ連合会との大輪投げ大会。
①平成26年5月7日（水）～7月23日（水） ②平成26年10月1日（水）～12月17日（水）	「介護予防体操」全12回×2クール 区内初、学生参加協力型の体操教室。
平成26年6月3日（火）～6月5日（木）	「シニア向けの初級パソコン教室」
平成26年7月5日（土）	「認知症講演会」
平成26年7月19日（土）	「ゆかた着付け教室」 関連イベント朝顔・ほうずき市の運営参加協力。
平成26年11月8日（土）	「健康まち歩き」 歩き方教室と学生考案のまち歩きツアー。
平成26年11月29日（土）～12月1日（月）	「平成26年度いきいきシニアの集い」 高齢者の文化祭に学生が運営参加協力。
平成27年1月10日（土）	「認知症カフェ」 地域の人と学生が交流を通じて「認知症」について語り合う場。
平成27年3月13日（金）	「介護予防展」 介護予防体操に参加したゼミの学生が参加協力。取りまとめたアンケートを披露。
平成26年7月～	「文京B-ぐるばす 車内放映用DVD」制作 放映期間 平成26年9月～平成27年4月

②文京区との地域連携

平成26年9月22日（月）	「防火防災訓練」 防火防災訓練、母子救護所設置訓練等。
平成26年10月5日（土）	「文の京ゆかりの文化人顕彰事業」朗読コンテスト。
平成27年1月21日（水）	文京区高齢者クラブを対象「食に関する講演会」
平成27年2月17日（火）	文京区高齢者クラブを対象「心のケアに関する講演会」
平成27年3月21日（土）	「第6回ウィメンズメンタルヘルス学会講演会」 東京大会を文京区、本学が後援。

## ③文京アカデミア講座（大学キャンパス講座の実施）

平成23年度から、地域社会（東京都文京区）との一層の連携を図る観点から、（公益財団法人）文京アカデミーが主催する「文京アカデミア講座」（大学キャンパス講座）に下記の通り参加した。

①文京アカデミア講座（前期）	
開催日	平成26年4月22日～平成26年5月27日 毎週火曜日 全3回
場 所	文京キャンパス2号館
テーマ	はじめから読む『源氏物語』
講 師	植田恭代 准教授 跡見学園女子大学文学部人文学科
②文京アカデミア講座（前期）	
開催日	平成26年 5月22日～平成26年 6月12日 毎週木曜日 全4回
場 所	跡見ギャラリー
テーマ	日本刺繍
講 師	木村久美子 兼任講師 跡見学園中学校高等学校
③文京アカデミア講座（後期）	
開催日	平成26年10月7日～平成26年12月2日 隔週火曜日 全5回
場 所	跡見ギャラリー（最終日のみ跡見学園中学校高等学校作法室）
テーマ	香道入門「聞香（もんこう）を楽しむ」
講 師	上村代志子 兼任講師 跡見学園女子大学
④文京アカデミア講座（後期）	
開催日	平成26年10月20日～平成26年11月17日 毎週月曜日 全4回
場 所	文京キャンパス2号館
テーマ	江戸時代の暦を読み解く
講 師	浦井祥子 兼任講師 跡見学園女子大学
⑤文京アカデミア講座（後期Ⅱ）	
開催日	平成27年2月13日～平成27年3月20日 毎週金曜日 全5回
場 所	文京キャンパス2号館
テーマ	私も書ける “篆書に挑戦！”
講 師	横田恭三 教授 跡見学園女子大学文学部人文学科

## ④茗荷谷図書館の文京区民への開放

図書館は、地域貢献の一環として文京区民で文京区立図書館登録を済ませた18歳以上の女性に茗荷谷図書館を開放している。平成26年度においても継続実施している。

## 2) 新座市との提携 〈✿〉

## ①新座キャンパスへの防災用備蓄倉庫の設置

平成24年12月19日に新座市と締結した「災害時における施設の使用に関する覚書」について、一部条項を追加し、平成26年2月13日に改めて締結した。また、本覚書に基づき、新座キャンパス体育館付近に防災用備蓄倉庫を設置した。

平成26年度中に新座市から備蓄品の搬入が開始された。

②花蹊記念資料館の開放

平成26年度は187日間、花蹊記念資料館を一般開放し、一般観覧者に展示物の鑑賞、資料の閲覧貸出、刊行物の頒布等を行った。

③新座キャンパスの開放

平成26年 3 月 1 日～ 5 月15日、土日祝日を含む74日間（3月18日、4月3日を除く）、新座キャンパスを桜見学のために一般開放し、1,648名が来場した。一般来場者には「構内サクラガイド」を配布した。

④新座市長との懇談会への参加

平成26年11月 8 日（土）、新座市野火止公民館において新座市内 3 大学（本学・立教大学・十文字学園女子大学）の学生と新座市長との懇談会が開催された。本学からは文学部 2 名、マネジメント学部 2 名の学生が参加し、市政への提言を述べた。

3) その他の自治体との提携 〈✿〉

①和光市との提携

平成24年11月22日に締結した相互協力包括協定に基づき、和光市からの依頼に基づき、和光市の姉妹都市アメリカ合衆国ワシントン州ロングビュー市にあるローワーコロンビアカレッジへの学生派遣を行なった。

②会津若松市との提携

平成24年 7 月25日に締結した「学校法人跡見学園 跡見学園女子大学と会津若松市とのパートナーシップ協定」に基づき、平成26年度もマネジメント学部観光マネジメント学科の学生が現地でのインターンシップに参加。物産品のブランド化について学修した。同年の紫祭では若者向けに調理した「会津地鶏」の販売と観光PRを行い、復興支援に努めた。

4) 跡見ギャラリーの活用 〈✿〉

本学園及び文京区の情報発信や文化活動としての役割だけでなく、文京区と連携し地域の活性化と公共の福祉を推進することを目的とした取り組みを積極的に行った。

「跡見ギャラリー」の1階は、企画展、常設展示、文京区との「シニアプラザ事業」を推進するための拠点として介護予防体操、シニア向けパソコン教室、浴衣着付け等教室としても活用した。2階の心理教育相談所の分室「ATOMI さくらルーム」では、「シニアカフェ」「子育てカフェ」等文京区民の心のケアの地域拠点として活用した。

平成26年 3 月31日（月）～ 4 月12日（土）	企画展 さくら便りⅡ 新座キャンパスの桜を紹介。
平成26年 4 月14日（月）～ 4 月26日（土）	企画展 花兆会 学園校友の作品展示。
平成26年 5 月13日（火）～ 6 月28日（土）	企画展「中学校高等学校の繊維工芸作品展」生徒作品（文部科学大臣賞等受賞作品）を中心とした展示。文京アカデミー講座の受講生の作品も展示。
平成26年 7 月 1 日（火）～ 8 月 2 日（土）	企画展「資料館所蔵品展」花蹊記念資料館所蔵作品の展示。
平成26年 8 月26日（火）～10月 5 日（日）	企画展「文のゆかりの文人たち」朗読コンテストに関連した展示。
平成26年10月 8 日（火）～10月25日（土）	企画展「防災展2014」学園の防災訓練、母子救護所訓練に関連した展示。
平成26年11月11日（火）～11月29日（土）	企画展 新記念シンポジウム開催に関するパネル展 学部開設および開設記念シンポジウムのパネル展示と紹介。
平成26年12月 4 日（木）～12月 7 日（日）	企画展「書道部展示」タイトル未定 書道部による作品展示。
平成26年12月 9 日（火） ～平成27年 2 月 7 日（土）	企画展「百人一首関連展示」特別イベントとして「カルタ取り大会」

平成27年 2月12日 (木) ~ 2月14日 (火)	企画展「写真部3年生による」写真パネル展示
平成27年 3月5日 (木) ~ 4月7日 (水)	企画展「春のよそおい」 日本刺繍講師の桜の作品を展示。新座キャンパスの桜を紹介。 桜まつりの紹介。
*1.常設展「学祖跡見花蹊と跡見学園の歴史」	

## (8) 大学50周年記念行事の実現〈❀〉

## 1) 大学50周年史の刊行準備〈❀〉

「大学50周年史編集委員会」を中心に、「跡見学園女子大学五十年史」の刊行準備を進めている。

## 2) 大学50周年記念式典の計画〈❀〉

平成27年10月24日 (土) に記念式典を行う。

## (9) 図書館

- 1) 跡見学園女子大学の「百人一首コレクション」は、小倉百人一首から異種百人一首まで3,000点以上の資料を有し、貴重な写本、各種版本、卷子本、錦絵、かるた、双六、研究書など幅広いものであることから、1977年に国立国会図書館の『特殊コレクション要覧』に加えられ、一般にも日本有数のものとしての評価を得ている。

## (10) 花蹊記念資料館

## 1) 企画展

期 間	展覧会名 第1展示室	展覧会名 第2展示室
4/1 (火) ~ 6/1 (日)	花蹊・玉枝の書画展	
6/16 (月) ~ 8/3 (日)	資料館収蔵品展 (絵)	アトミ・アート展
9/22 (月) ~ 11/8 (土)	資料館収蔵品展 (書)	跡見廉書会第8回OG展
11/24 (月) ~ 12/20 (土)	資料館収蔵品展	
2015年 1/27 (火) ~ 2/9 (月)	博物館実習生模擬展示	
2015年 3/13 (金) ~ 3/31 (火)	50周年特別展示 I 「学祖 跡見花蹊の世界」	

## (11) ATOMIアカデミック・インターンシップ

マネジメント学部の2年生、実践ゼミナール受講者427名が参加した。マネジメント学部は『アカデミック・インターンシップ2014総括報告書』を作成した。

## (12) 公開講座

一般者を対象として、次のとおり実施した。

## 1) 春学期 (新座キャンパス)

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「女性たちのアジア—中国・台湾・沖縄・韓国・日本の文化を生きる—」	平成26年 5月24日~ 6月7日 毎週土曜日 [全3回]	118名
②パソコンコース 「ホームページ作成入門」	平成26年 4月26日(土)・5月10日(土) [2週連続講座]	37名
③語学コース 「英会話・中国語」	平成26年 5月17日~ 7月19日 毎週土曜日 [全10回]	英会話 37名 中国語会話 18名
④古文書読解コース	平成26年 5月17日~ 7月19日 毎週土曜日 [全10回]	21名

## 2) 春学期 (文京キャンパス)

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「スポーツをマネジメントする」	平成26年6月14日～6月28日 毎週土曜日 [全3回]	196名

## 3) 秋学期 (新座キャンパス)

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「文化・娯楽を支えるマネジメント」	平成26年10月11日～10月25日 毎週土曜日 [全3回]	128名
②パソコンコース 「Excel入門」	平成26年9月20日(土)・9月27日(土) [2週連続講座]	38名
③語学コース 「英会話・中国語会話」	平成26年10月4日～12月13日(11月1日 は除く) 毎週土曜日 [全10回]	英会話 29名 中国語会話 21名
④古文書コース	平成26年10月4日～12月13日(11月1日 は除く) 毎週土曜日 [全10回]	18名

## 4) 秋学期 (文京キャンパス)

コース	開催期間	受講者数
①教養コース 「思春期の子育てとストレス」	平成26年11月8日～11月22日 毎週土曜日 [全3回]	89名
②パソコンコース 「Excel入門」	平成26年11月29日(土)・12月6日(土) [2週連続講座]	38名

## (13) 講演会・講習会

## 1) 全学共通科目運営センター

## ①第1回FD講演会

日 時 平成26年11月19日(水) 13:00～14:30  
場 所 新座キャンパス図書館視聴覚ホール  
テーマ 「大学の評判・学生の実態」  
講演者 杉谷祐美子氏(青山学院大学教育人間科学部教育学科准教授)

## 2) 文学部

## ①FDワークショップ

日 時 平成26年6月25日(水) 13:00～14:30  
場 所 新座キャンパス2282教室  
テーマ 「卒業論文・研究の指導報告とこれから」  
発表者 奈倉哲三教授、富川淳子教授、藤澤伸介教授

## 3) マネジメント学部

## ①キャリアデザイン講演会

日 時 (1) 平成26年11月11日(火) 18:20～19:45  
(2) 平成26年11月21日(金) 18:20～19:50  
場 所 (1) 新座キャンパス 花蹊メモリアルホール  
(2) 文京キャンパス プロッサムホール  
講 師 (1) 渋谷美佳氏(渋谷社会保険労務士事務所所長)  
パネリスト (1) 卒業生4名 (2) 卒業生3名

コーディネーター

(1) 高橋聖子講師 (2) 芝原脩次兼任講師

テーマ 「実社会で活躍する女性のキャリアデザインを考える  
～跡見女子大が誇る輝かしい先輩の生き方を学ぶ～」

②第1回マネジメント学部FDワークショップ

日時 平成26年6月25日(水) 13:00～14:30

場所 新座キャンパス3156教室

テーマ 「キャリア教育のより一層の充実に向けて」

講師 石塚正敏教授、宮崎正浩准教授、許伸江助教

③第2回マネジメント学部FDワークショップ

日時 平成27年2月24日(火) 12:00～13:30

場所 新座キャンパス3256教室

テーマ 「暗黙知の共有・継承」

講師 天野俊彦教授、中谷幸弘教授、花岡照明教授、芝原脩次兼任講師

4) 人文科学研究科日本文化専攻

①第1回異文化交流フォーラム

日時 平成26年5月21日(水) 16:40～18:10

場所 文京キャンパス2号館 M2308教室

テーマ 「海外からの視点 ートルコとスリランカからー」

講師 ギョカイ・エキン・ジェレン氏(トルコ・東京大学大学院学際情報学府)  
ニルマラ・ラナシンハ氏(スリランカ・立教大学大学院修士課程)

②第2回異文化交流フォーラム

日時 平成26年7月31日(木) 16:40～18:25

場所 文京キャンパス2号館 M2301教室

テーマ 「海外で働く」とはどんなこと? ～外国における日本語教育～

講師 氏原名美氏 [国立ビシケク人文大学(キルギス共和国) 東洋国際関係学部  
日本語日本文学科学科長]

5) 図書館

①第4回図書館主催講演会

開催日:平成26年6月11日(水) 午後1時～2時30分

(講演:1時間、質疑:20分)

講演テーマ:「電子図書は何をどこまで変えるか」

講師:株式会社日本電子図書館サービス 取締役 野田透氏

主催:図書館、情報メディアセンター(共同開催)

会場:新座図書館視聴覚ホール

6) 心理教育相談所

①新座相談所 一般対象講習会(全5回)

回	日程	時間	講師	テーマ
1	7月1日(火)	10:40～12:10	宮崎 圭子	自己理解～ご自分でご自分を調べてみませんか? 心理テストを用いて～
2	7月4日(金)	10:40～12:10	藤澤 伸介	それは本当に雑草なのか?
3	9月18日(木)	13:00～14:30	阿部 洋子	笑顔で介護・看病

4	9月26日(金)	10:40~12:10	伊澤 成男	コンセンサス実習～価値観や好悪の感情を共有する～
5	10月4日(土)	10:40~12:10	山口 豊一	いじめ問題の対応を考える

## ②文京分室ATOMIさくらルーム 一般対象講習会(全3回)

回	日 程	時 間	講 師	テ ー マ
1	2月5日(木)	10:30~12:00	宮崎 圭子	自己理解～ご自分でご自分を調べてみませんか？ 心理テストを用いて～
2	2月12日(木)	10:30~12:00	藤澤 伸介	それは本当に雑草なのか？
3	2月19日(木)	10:30~12:00	阿部 洋子	笑顔で介護・看病

## ③不登校を考える親の会

- ・新座相談所

平成26年4月4日～平成27年3月20日、第1・第3金曜日に開催。定員：10名。

- ・文京分室ATOMIさくらルーム

平成26年4月10日～平成27年3月26日、第2・第4木曜日に開催。定員：10名。

## (14) 学生による授業評価の実施

## 1) 春学期

実 施 日 平成26年7月16日(水)～18日(金)、  
22日(火)、24日(振・月)、25日(振・土)

実施科目数 688科目

履修登録者数 40,098名 回収数 30,558名 回収率 76.2%

## 2) 秋学期

実 施 日 平成27年1月21日(水)～24日(土)、27日(火)、2月2日(月)

実施科目数 712科目

履修登録者数 35,314名 回収数 26,262名 回収率 74.4%

## (15) 入試状況

## 1) 平成27年度入試結果(平成27年3月31日)

## ①大学院

(単位：名)

研究科	専攻	定 員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
人文科学研究科	日 本 文 化	8	1	1	1	1	1
	臨 床 心 理 学	12	38	37	18	14	14
マネジメント研究科	マ ネ ジ メ ン ト	10	2	2	2	1	1
合 計		30	41	40	21	16	16

## ②学 部

(単位：名)

学 部	学 科	定 員	志願者数	受験者数	合格者数	手続者数	入学予定者数
文 学 部	人 文	160	458 (2)	435 (2)	424 (1)	198 (1)	164 (1)
	現代文化表現	120	294 (1)	279 (1)	261 (0)	141 (0)	121 (0)
	コミュニケーション文化	110	319 (4)	301 (4)	286 (4)	146 (4)	127 (4)
	臨 床 心 理	120	311	299	286	158	135
マネジメント	マネジメント	180	429 (3)	416 (3)	400 (3)	220 (3)	180 (2)
	観光マネジメント		(3)	(3)	(2)	(2)	(2)
	生活環境マネジメント	80	182 (1)	176 (1)	163 (1)	106 (1)	96 (1)
観光 コミュニティ	観光デザイン	120	323	299	260	177	148
	コミュニティ デザイン	80	42	39	39	22	20
合 計		970	2,358 (14)	2,244 (14)	2,119 (11)	1,168 (11)	991 (10)

\* ( ) は外数で編入学

## (16) 修了者数・卒業者数

## 1) 平成26年度大学院修了者数 (単位：名)

研 究 科	専 攻	修了者数
人 文 学 科 研 究 科	日本文化専攻	0
	臨床心理学専攻	13
マネジメント研究科	マネジメント専攻	1
合 計		14

※9月修了生を含む。

## 2) 平成26年度大学卒業者数 (単位：名)

学 部	学 科	卒業者数
文 学 部	人文学科	215
	現代文化表現学科	101
	コミュニケーション文化学科	120
	臨床心理学科	108
	(計)	544
マネジメント学部	マネジメント学科	235
	観光マネジメント学科	101
	生活環境マネジメント学科	52
	(計)	388
合 計		932

※9月卒業生を含む。

## (17) 平成26年度進路状況及び業種別就職状況 (平成27年3月18日卒業者)

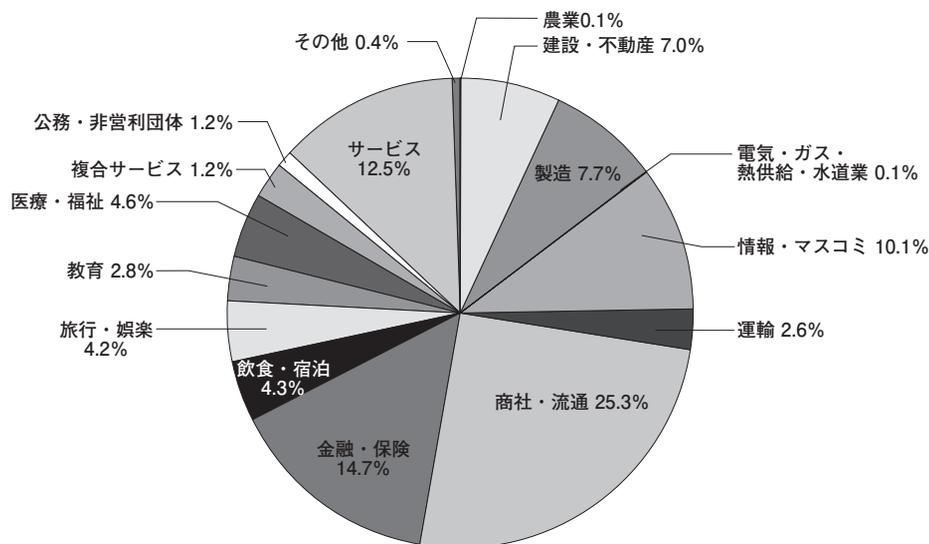
平成25年12月16日発「文部科学省における大学等卒業者の「就職率」の取り扱いについて (通知)」に基づき下記の通り算出。なお「就職率」公表に際しては「調査時点」「就職希望者」「就職者」などの定義や算出方法の明示が必要である。これにならい、下記の通り定義する。(定義は文部科学省の定義に準じている)

- ①就 職 率…就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもの。
- ②就 職 者…正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者。
- ③就職希望者…卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者。なお、「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。
- ④調 査 時 点…4月1日現在

【進路状況】（文部科学省基準「就職率」） （単位：名）

学 部	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率 ※小数第二位を四捨五入	進 学	その他
文 学 部	544	447	414	92.6%	29	101
マネジメント学部	388	361	348	96.4%	5	35
合計	932	808	762	94.3%	34	136

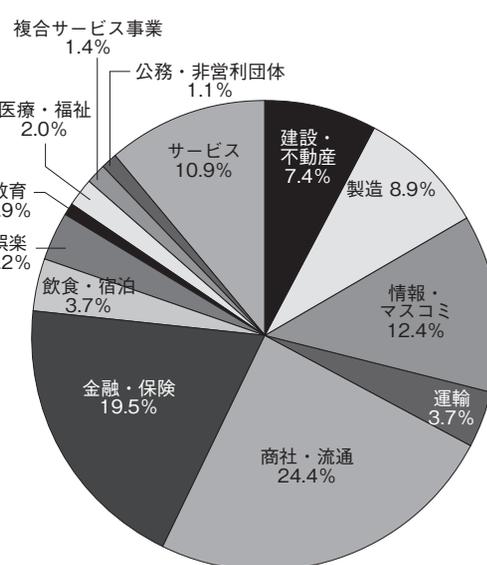
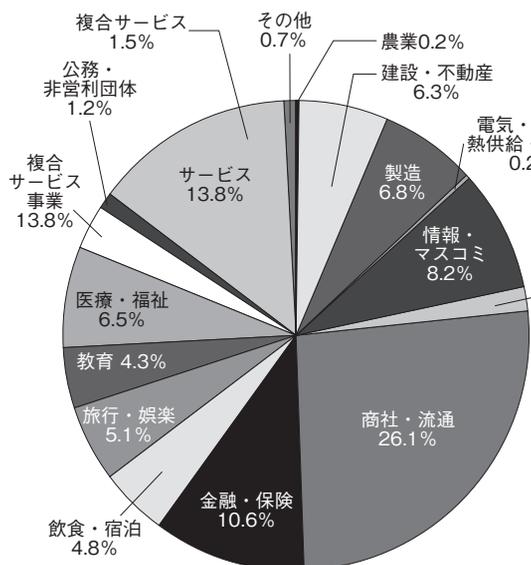
【業種別就職状況】



学部別

文学部

マネジメント学部



## ・中学校高等学校

### (1) 中学校高等学校の実績

(**✳**) 印は平成26年度事業計画事業)

#### (1) 教育・研究関係

##### 1) 教育目的

学祖の目指した女性としての自律し自立するための知、情、意のバランスの取れた発達による全人教育を中高一貫教育の教育システムの中で実践した。

##### 2) 教育目標 **✳**

###### <生活指導面>

中学生：基本的生活習慣の確立と自己分析（集団の中における自己の役割・個性）

高校生：個性を伸張させる仲間との連携と人生計画をたてられるよう指導した。

###### <学習指導面>

中学生：学習に向き合う姿勢の継続と基礎学力の育成

高校生：自己の進路目的に向けた学習応用力の養成

#### ①教育目標の具体化～生活面

##### a 全校的：全生徒

担任による個人面談の実施（4月11日～18日・10月2日～11日）

「生徒面談記録簿」を校務システムの中に取り入れ、全生徒の面談記録を残す。

体育祭（9月9日）

文化祭（9月13・14日）

音楽会（11月19日）ダン・タイ・ソン ピアノリサイタル 於 東京芸術劇場

遠足（5月30日）・候補地を絞り、学年ごとに行動

中学1年 高尾山

中学2年 陣馬山

中学3年 宝登山

高校1年 パノラマ台

高校2年 小田原市いこいの森

高校3年 森林公園

校外見学（11月11日）・学年ごとに行動

##### b 中学生：コミュニケーションスキルの育成

###### 【ワークショップ内容】

中学1年生 テーマ：友達を増やそう

・友達づくりのはじめの一步～跡見学園に入学してよかったと思えるような楽しい時間を過ごす

・力と智恵を合わせて～協力の必要性・方法を知る 協力後の充実感を知る

中学2年生 テーマ：仲間のよさを見つけよう

・温かい心を届けよう①～相手の状況に応じた、気持のよい誘い方を知る

自分の気持ちを伝える返事の仕方を知る

・温かい心を届けよう②～ほめることで相手との関係がよくなることを知る

ほめるとき、状況にあったほめる言葉を知る

中学3年生 テーマ：大人になる準備をしよう

・大人の世界へようこそ①～自分で問題解決することができるようにする

- ・大人の世界へようこそ② ～自分の進路は自分で選択できるようにする
- c 悩みを持つ生徒に対して：チームで取り組む（段階別に、担任、学年主任、保健主任、校務部長、副校長、カウンセラー）
- d 危機管理に関する見直し：通常授業時、宿泊行事時、いじめ等生徒に対する効果的な「声かけ」を共有し、実施する
- e 防災訓練の改善
- f 防犯講習会の実施
- g 中学1年：新入生出校日における講話の充実
- h 中学1年：自然教室 北軽井沢にて3泊4日（7月27日～8月2日）  
鬼押出し園と溶岩樹型群・観察の森・孀恋郷土資料館・鎌原観音堂見学
- i 中学2年：自然教室 丸沼3泊4日（6月5日～11日）  
湯滝・竜頭の滝見学、日光白根山登山、尾瀬ヶ原散策
- j 中学3年：修学旅行 広島2泊3日（9月25日～27日）  
被曝体験者の方と一緒に平和記念公園にて碑めぐり、広島平和記念資料館見学、放射線影響研究所・広島大学原爆放射線医科学研究所・本川小学校訪問、大久野島フィールドワーク、似島フィールドワーク
- k 高校1年：オリエンテーション 箱根2泊3日（4月28日～30日）  
職業調べ、外部講師・卒業生による講演、相談、グループワーク
- l 高校2年：研修旅行 奈良・京都4泊5日（9月22日～26日）  
東大寺・法隆寺・奈良公園・東寺など見学、クラス別・グループ別行動

## ②教育目標の具体化～学習面

- a 全 校：全校漢字テスト、読書感想文、夏期・冬期補講、業者による学力テスト（中学：ベネッセ 高校：ベネッセ 駿台予備校）、漢字検定・英語検定必修・数学検定（希望者）  
ベネッセファインシステムを導入し、生徒の進路指導・学力の客観的な分析・入試の予測や結果分析に利用
- b 全 校：年間を通して授業曜日数を平均化する
- c 全 校：積極的に外部のコンテスト等に出場するよう指導
- d 中学生：茶道裏千家の作法習得
- e 中学生：国語・数学・英語 遅れてしまった生徒対象にチームティーチングによる補習
- f 中学1年～2年：英会話クラス設置（7限目）
- g 中学1年～3年：英語の成績優秀者で希望する生徒に対し、英語夏期集中クラス設置
- h 中学1年～2年：8クラス
- i 中学3年：英語は1クラス2分割
- j 高校生：全学年「英語演習」必修
- k 中学1年生～高校生2年生：英語特別クラスの設置
- l 高校1年：「英語演習Ⅰ」を学校設定科目とする
- m 高校3年：受験指導の徹底を図る  
例 「国語表現」で充実した小論文指導を行う

- n 高校2年・3年：難関大学受験クラスの設置  
 対象：高校2年・3年生で希望する生徒  
 日時：4月～12月まで 週1回 7時限目相当  
 クラス：難関大学受験 国語（高校2年・3年）  
 難関大学受験 理系数学（高校3年）  
 難関大学受験 文系数学（高校3年）  
 難関大学受験 数学（高校2年）  
 難関大学受験 英語（高校2年・3年）  
 授業内容：国公立・早大・慶大・理科大受験に対応するハイレベル
- o 国語科：能・狂言、歌舞伎、文楽、雅楽鑑賞
- p 社会科：浅草寺・隅田川周辺、江戸東京博物館見学、東京地方裁判所にて刑事裁判傍聴
- q 数学科：中学1年生後期～高校1年 習熟度授業 2クラス2分割
- r 理科：小石川植物園、葛西臨海水族園、上野動物園、鹿島技術研究所見学
- s 家庭科：テーブルマナー、江戸東京たてもの園見学
- t 音楽科：合唱コンクール
- u 英語科：スピーチコンテスト
- v 進路ガイダンス・キャリアガイダンスの充実を図るプログラムの作成（教務と進路の提携）
- w 個人の学習到達目標を6年のスパンとする学力試験への変更

### ③国際交流関係

- 夏期海外語学研修（7月21日～8月5日）  
 ・オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベン、15日間  
 現地校の授業参加、少人数英語授業受講

### ④勉強合宿「跡見学校」

- 夏期勉強合宿（7月28日～7月30日）  
 対象：高校1年生  
 内容：英語・数学・国語の三教科を実施  
 場所：西湖「くるわび」

### ⑤対教員

- 講師による研修の定例化

## (2) 新規事業

- ①平成28年度実施 跡見学園中学校高等学校  
 グランドデザインの制定

### ②<生活面>

- 災害対応の徹底  
 ・防災備蓄品のさらなる充実  
 ・新入生への「災害対応マップ」、「災害対応マニュアル」活用の徹底  
 ・東京私立中学高等学校協会との連携・跡見学園女子大学との連携  
 ・私中高協会「避難校ネット」開設

## ③&lt;学習面&gt;

- a 高校難関大学受験クラスのさらなる充実
- b 図書館閉館時間延長
- c 学習支援システムの導入
- d 授業時数の確保
- e 春期講習の増設
- f グローバルセミナー実施

## ④&lt;国際交流&gt;

海外語学研修の充実 ～St.Rita's Collegeとの姉妹校提携

- ・ターム留学制度設置

## ⑤&lt;総合&gt;

平成27年度入試振り返り

- ・入試の反省における資料の提示。
- ・塾対象学校説明会（5月）における平成26年度入試の問題解説
- ・新校務システムの導入

## (3) 教員の教育力の向上をめざして

生徒の指導に当たる教員一人ひとりの能力を高め、教師集団としての教育力の向上を目指して次の目標を掲げる。

- ①教員の教科指導力の向上
- ②教員のクラス経営、保護者との対応等マネジメント能力の向上
- ③教員の協働意識の向上

上記の目標達成のために次の事業を行った。

- a 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力向上のために
  - ・中堅教員に対する実践力アップのための研修提供
 

授業学研究所主催 教員養成講座 [中級]	2時間×10コマ
第1回 生徒指導	2時間×2コマ
第2回 家庭学習管理	2時間×2コマ
第3回 保護者対応	2時間×2コマ
第4回 教育コーチング	2時間×2コマ
第5回 モティベーションアップ	2時間×2コマ
- b 教員の協同意識の向上のために次の事業を実施した。
  - イ) 新入生出校日に合わせた新任教員への訓話
  - ロ) 各校務主任による新任教員への研修
  - ハ) 校長の新任教職員への個人面談
- c 教員のクラス経営、保護者との対応等のマネジメント能力の向上 <✿>
- d 講演会

高校3年 主催	
対 象	高校3年生 保護者
講 師	河合塾講師
月 日	平成26年4月26日(土)
テーマ	2014年度入試の状況・受験生保護者としての心構え

中学1年 主催 特別活動	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	大塚警察署防犯課・交通課署員
月 日	平成26年5月1日(木)
テーマ	セーフティ教室(通学途中における危険回避)

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 保護者
講 師	河合塾講師
月 日	平成26年5月10日(土)
テーマ	2014年度入試の結果分析・受験生保護者としての心構え

高校1年 主催	
対 象	高校1年生 保護者
講 師	河合塾講師
月 日	平成26年5月17日(土)
テーマ	2014年度入試の結果分析・受験生保護者としての心構え

カウンセリಂಗルーム 主催	
対 象	中2・中3各担任集団及び希望者
講 師	大熊 雅士氏(東京学芸大学教職大学院特任教授)
月 日	平成26年5月19日(月)
テーマ	ソーシャルスキルワークショップ

カウンセリಂಗルーム 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	大熊 雅士氏(東京学芸大学教職大学院特任教授)
月 日	平成26年5月22日(木)
テーマ	ソーシャルスキルワークショップ

進路指導主催 特別活動	
対 象	高校1～2年生 生徒
講 師	大学の先生方15名
月 日	平成26年6月7日(土)
テーマ	分野・系統別説明会

進路指導主催 特別活動	
対 象	高校1～3年生 生徒
講 師	上智大学の先生
月 日	平成26年6月11日(水)
テーマ	上智大学説明会

進路指導主催 特別活動	
対 象	中学1～高校3年生 生徒及び保護者
講 師	跡見学園女子大学の先生方・在校生
月 日	平成26年6月13日（金）
テーマ	跡見学園女子大学説明会

進路指導主催 特別活動	
対 象	高校1～3年生 生徒及び保護者
講 師	大学の先生方13名・ベネッセ講師
月 日	平成26年6月14日（土）
テーマ	大学説明会・グローバルセミナー

進路指導主催 特別活動	
対 象	高校1～3年生 生徒及び保護者
講 師	ベネッセ講師
月 日	平成26年6月14日（土）
テーマ	グローバルセミナー

PTA連合会 主催	
対 象	保護者・卒業生・一般
講 師	嶋田 英誠先生 女子大学客員教授・中学校高等学校校長
月 日	平成26年6月28日（土）
テーマ	【紙芝居 跡見花蹊】

中学1年 主催	
対 象	中学1年生徒
講 師	養護教諭
月 日	平成26年7月3日（木）
テーマ	衛生講話

カウンセリングルーム 主催	
対 象	中学1年生全員
講 師	大熊 雅士氏
月 日	平成26年7月11日（金）
テーマ	ソーシャルスキルワークショップ

進路指導主催 特別活動	
対 象	高校3年生 生徒
講 師	進路主任
月 日	平成26年9月1日（月）
テーマ	センター試験説明会

教務 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	教務主任
月 日	平成26年9月4日 (木)
テーマ	科目選択説明会

教務 主催	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	教務主任
月 日	平成26年9月4日 (木)
テーマ	科目選択説明会

教務 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	教務主任
月 日	平成26年9月4日 (木)
テーマ	科目選択説明会

進路 主催	
対 象	高校1・2年生 生徒
講 師	大学の先生方9名
月 日	平成26年10月11日 (土)
テーマ	大学模擬授業

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	ベネッセ講師
月 日	平成26年10月16日 (木)
テーマ	進路講演会

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	学研教育みらい講師 鈴木 礼美氏
月 日	平成26年10月25日 (土)
テーマ	進路講演会

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	中学3年生教員
月 日	平成26年10月25日 (土)
テーマ	ソーシャルスキルワークショップ

PTA連合会 主催	
対 象	保護者
講 師	弁護士 大淵 愛子氏
月 日	平成26年11月8日(土)
テーマ	「夢を実現する方法」

保健室 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	校医 鈴木 真理先生
月 日	平成26年11月20日(木)
テーマ	校医衛生講話

入試・広報室 主催 「跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム」	
対 象	受験生・保護者・一般
講 師	弁護士 大淵 愛子氏
月 日	平成26年11月29日(土)
テーマ	My Life

高校1年 主催	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾 隆広氏
月 日	平成26年12月4日(木)
テーマ	模擬試験の振り返り

校務部 主催 研修会	
対 象	中高教員
講 師	東京大学 市川 伸一先生
月 日	平成26年12月9日(火)
テーマ	自律した学習者を育てる教員向け学習法講座

校務部 主催 講演会	
対 象	中高教職員
講 師	大塚警察・小石川消防署
月 日	平成26年12月11日(木)
テーマ	不審者侵入対策防犯教育・防犯訓練& A E D 救急救命講習会

高校3年 主催	
対 象	高3保護者
講 師	高3学年主任
月 日	平成26年12月13日(土)
テーマ	保護者対象センター試験説明会

PTA 主催 講演会	
対 象	在校生保護者
講 師	東京大学大学院教授 市川 伸一先生
月 日	平成27年1月10日(土)
テ ー マ	自律した学習者を育てる保護者向け学習法講座

中学2年 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾 隆広氏
月 日	平成27年1月15日(木)
テ ー マ	第2回学習実態調査(11月)の結果分析・中3に向けた学習

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	リクルートマーケティングパートナーズ 佐野 由美氏
月 日	平成27年1月22日(木)
テ ー マ	未来の夢の見つけ方・社会の変化・社会で求められる力

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾氏
月 日	平成27年1月29日(木)
テ ー マ	第2回学習実態調査(11月)の結果分析・中2に向けた学習

中学2年 主催	
対 象	中学2年生 生徒
講 師	関 千枝子氏
月 日	平成27年1月29日(木)
テ ー マ	著書「広島第二県女二年西組」について・被爆体験

高校1年 主催	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	高1学年主任
月 日	平成27年2月5日(木)
テ ー マ	研修旅行に関する集会

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	社会労務士5名
月 日	平成27年2月5日(木)
テ ー マ	年金教室

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾 隆広氏
月 日	平成27年2月12日(木)
テーマ	進路講演会

中学3年 主催	
対 象	中学3年生 生徒
講 師	担任の先生方
月 日	平成27年2月18日(水)
テーマ	携帯電話及びネット関連について

高校1年 主催	
対 象	高校1年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾 隆広氏
月 日	平成27年2月19日(木)
テーマ	進路講演会

中学1年 主催	
対 象	中学1年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾 隆広氏
月 日	平成27年2月27日(金)
テーマ	進路講演会

高校2年 主催	
対 象	高校2年生 生徒
講 師	ベネッセ 西尾 隆広氏
月 日	平成27年2月28日(土)
テーマ	進路講演会

カウンセリングルーム主催	
対 象	全教員
講 師	NPO法人元気プログラム作成委員会 大熊 雅士氏
月 日	平成27年3月5日(木)
テーマ	中学生対象ソーシャルスキルワークショップの指導法を学ぶ

保健係 主催	
対 象	希望教員・希望生徒
講 師	小石川消防署
月 日	平成27年3月10日(火)
テーマ	救急救命法講習会

高1・高2 主催	
対 象	高校1年生・2年生 生徒
講 師	東京保健医療大学 鈴木 和文先生
月 日	平成27年 3月10日 (火)
テ ー マ	医療系進学希望者の面接ガイダンス

中3 主催	
対 象	中学3年生
講 師	学年の先生方
月 日	平成27年 3月10日 (火)
テ ー マ	職業調べ・高1オリエンテーション

高1・高2 主催	
対 象	高校1年生・2年生 生徒
講 師	高3 卒業生 (4人)
月 日	平成27年 3月11日 (水)
テ ー マ	合格体験談を聞き・進路選択に役立てる。

#### (4) 入試広報関係

##### 1) 入試の日程及び各回募集人数〈✿〉

平成27年度帰国生入学試験募集人数

帰国生 12月17日 若干名

平成27年度一般入学試験募集人数

第1回入試 2月1日 100名

第2回入試 2月2日 100名

第3回入試 2月3日 70名

平成27年度編入・転入学試験募集人数

編入学 2月19日 若干名

転入学 2月19日 若干名

##### 2) 平成26年度新規事業

- ①塾訪問の実施
- ②校風調査(日能研)の実施
- ③ミニ説明会(2科目)の実施

##### 3) 平成27年度入試の反省と28年度入試に向けて広報活動の立案

- ①グランドデザイン、入学者非入学者アンケート、校風調査結果を踏まえた広報活動の改善

##### 4) 卒業生を迎えてのシンポジウムの継続

タイトル 跡見学園卒業生を迎えてのシンポジウム

テ ー マ My Life

日 時 平成26年11月29日(土) 15:00~16:00

場 所 跡見李子記念講堂  
 パネリスト 大瀨 愛子氏 (アムール法律事務所代表弁護士)  
 住川 明子 (跡見学園中学校高等学校副校長、社会科教諭)

## 5) 学校説明会日程表

本校主催学校説明会実績 (平成26年度4～1月)

	実施日	名 称	場 所	来場者 (組数)			備 考
				H26	H25	H24	
1	4/17 (木)	第1回塾対象説明会 (入試報告会)	跡見李子記念講堂	144	—	—	
2	5/24 (土)	第1回学校説明会	本校	226	25	—	H25は、ミニ説明会を開催
3	6/7 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	18	19	—	
4	6/12 (木)	第2回塾対象説明会	跡見李子記念講堂	170	227	—	
5	6/21 (土)	クラブ発表会	大アリーナ	144	378	185	H25は、説明会 とクラブ見学会 を同時開催
			本校			192	
6	6/28 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	21	23	—	
7	7/5 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	21	25	—	
8	7/12 (土)	第2回学校説明会 (生徒会主催)	大アリーナ	324	236	453	
9	9/6 (土)	第3回学校説明会	跡見李子記念講堂	204	127 51	157	H25は2回開催
10	9/13 (土)	文化祭入広PR (2日間)	本校	29	40	48	
	14 (日)						
11	9/18 (木)	第3回塾対象説明会	跡見李子記念講堂	65	136	—	
12	9/20 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	19	28	—	
13	9/26 (金)	第4回学校説明会 (ナイト)	跡見李子記念講堂	67	141	—	
14	10/4 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	18	27	—	
15	10/25 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	35	26	—	
16	11/8 (土)	第5回学校説明会	大アリーナ	457	501	563	学校説明会の後、 生徒催し
17	11/15 (土)	体験授業	本校	211	215	259	
18	11/22 (土)	ミニ学校説明会 ミニ体験授業 なんでも相談会	本校	13	36	—	
19	11/29 (土)	シンポジウム	跡見李子記念講堂	130	128	100	
20	12/6 (土)	第6回学校説明会	大アリーナ	292	535	495	学校説明会の後、 生徒催し
21	1/10 (土)	第7回学校説明会	跡見李子記念講堂	197	63	—	
小 計				2,805	2,987	2,452	

## 外部主催（於本校）学校説明会実績（平成26年度4～1月）

	実施日	名 称	場 所	来場者（組数）			備 考
				H26	H25	H24	
1	5/12 (月)	サピックス学校説明会	跡見李子記念講堂	71	88	103	
2	6/5 (木)	市進学院学校説明会	跡見李子記念講堂	41	42	42	
3	6/19 (木)	栄光ゼミナール学校説明会	跡見李子記念講堂	79	82	90	
4	6/26 (木)	四谷大塚学校説明会	跡見李子記念講堂	92	114	122	
5	7/13 (日)	四谷大塚模試における説明会	跡見李子記念講堂	324	300	—	
6	10/19 (日)	四谷大塚模試における説明会	跡見李子記念講堂	210	300	300	
7	2/15 (日)	啓明舎模試における説明会	跡見李子記念講堂	175	—	—	
小 計				992	926	657	

## 外部会場学校説明会実績（平成26年度4～1月）

	実施日	名 称	場 所	来場者（組数）			備 考
				H25	H24	H23	
1	4/29 (火・祝)	女子校アンサンブル	学習院女子大学	58	400	400	H24、H25は算出方法が異なる。
2	5/18 (日)	Discover私立一貫教育 東京私立中合同相談会	国際フォーラム	76	100	130	
3	5/25 (日)	Benesse進学フェア	国際フォーラム	53	59	62	
4	6/1 (日)	文京区私立中学高等学校 連合進学説明会	秋葉原UDX	12	17	25	
5	6/14 (土)	上野松坂屋説明会	上野松坂屋	28	40	41	
6	6/15 (日)	「受験なんでも相談会」 声の教育社	新宿NSビル	13	40	23	
7	7/6 (日)	日能研フェア	東洋大学	75	99	200	
8	7/6 (日)	日能研フェア	玉川大学	5	17	26	
9	7/13 (日)	国大セミナー進学説明 会	国大セミナー	8	4	5	
10	7/26 (土)	JOBA学校フェア	JOBA	8	15	4	帰国生対象
11	8/20 (水)	教育情報説明会	市進学院 日暮里教室	16	—	—	
12	8/23 (土) 24 (日)	2014東京都私立学校展	国際フォーラム	72	100	100	
13	10/19 (日)	東京私立中高 池袋進学相談会	池袋サンシャイン	55	70	70	
14	11/16 (日)	学校を知る会	四谷大塚巣鴨校舎	3	—	—	
15	11/28 (金)	四谷大塚巣鴨校舎説明会	JOBA	8	15	25	
小 計				490	976	1,111	

## (5) 施設設備・情報環境整備関係

## 1) 施設環境の整備

## ①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
<b>第一・二洋裁室ミシン更新（16台）</b> 家庭科で使用しているミシンの内、保証期間を過ぎてしまったものについて、安全を考慮し更新を行った。	843	7月
<b>校舎北面外壁・屋根補修工事</b> 校舎北面（昇降口側）の外壁に、クラックやサッシ枠下部の爆裂等が確認されたため、剥落落下による危険を防ぐための補修工事を実施した。	54,864	7・8月
<b>計装設備劣化機器交換修理</b> 点検により作動不良が確認された各所の計装機器について、交換を行った。	1,026	8・10月
<b>空調設備改修工事（第3期）</b> 設置から22年経過し老朽化した校舎北西側特別教室等のFCU、全熱交換機および一部パッケージエアコンの高効率機器による更新を行い、化学実験室AHU（大型空調機）のオーバーホール、プールAHUの更新を行った。	78,840	7・8・1月
<b>プールサイド天井・壁補修工事</b> 天井下地の劣化が進行し、剥落の懸念が高まりつつあったため、吊ボルト増強等の耐震対策を施した上で張替工事を行った。塩素により劣化の進行していた内壁の補修や空調ダクト開口部の錆付器具交換も合わせて行った。	11,178	3月
<b>プールサイド照明器具更新工事</b> ダウンライトの老朽化が進行し、照度の低下も見受けられたため、天井補修に合わせて長寿命・低消費電力であるLED照明器具に更新を行った。	3,360	3月
<b>貯湯槽廻り配管等補修工事</b> 配管や計器類の腐食が進行していたため、補修工事を行った。	545	3月

## ②それ以外の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
<b>スプリンクラーポンプ整備</b> 消防用スプリンクラーポンプの誤作動による火報の誤発報が生じていたため、老朽化部品交換等の整備を行った。	756	4月
<b>屋上搭屋避雷針2本更新工事</b> 設置から23年が経過し、煙突からの蒸気を受けて錆付も進行していたため、更新を行った。	5,627	7・8月
<b>大アリーナ渡り廊下屋上防水工事</b> 大アリーナ前の廊下で大雨の際に雨漏りが度々生じていたため、屋上防水工事を行った。	1,944	8月

## 2) 情報環境の整備

## ①事業計画の事業

(単位：千円)

事業項目	事業費	実施時期
入試システム保守 入試システムの新規導入（H26年2月稼働）に伴う平成26年度年間保守料。	1,037	—

## (6) 入試状況

## 1) 中学校平成27年度入試結果

## ①帰国生入学試験

(単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	25	25	25	6

## ②一般入学試験

(単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,092	534	359	242

## ③帰国生編入・転入学試験

(単位：名)

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
若干名	5	5	5	5

## (7) 卒業者数・進路状況

## 1) 高等学校

①平成26年度卒業者数（平成27年3月3日） 254名

②平成26年度卒業生（平成27年3月27日）大学等合格状況

4年制大学【国公立】合格者数 5名

4年制大学【私立】合格者数 799名

大学校 1名

短期大学 合格者数 4名

専門学校 合格者数 2名

留学 1名

2) 平成26年度中学校卒業者数（平成27年3月19日）283名

### 3. 管理運営の概要

#### (1) ガバナンス

権限、責任、監視体制を明確にし、学園全体の経営力強化、経営資源の拡充などに取り組むため、各種会議を開催した。

##### 1) 平成26年度理事会・評議員会

###### ①理事会

開催日	会議	議案
平成26年 4月22日	370回	1 新学生寮の建築計画の1年前倒し及びこれに伴う現学生寮の原状回復に関する件
平成26年 5月27日	371回	1 平成25年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2 平成25年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3 第22期役員 of 定期改選のための任期の修正に伴う理事長の辞任届及び残任期間の取り扱いに関する件
		4 寄附行為第19条の2第1号及び第19条の2第2号に規定する評議員選任に関する件
平成26年 5月27日	372回	1 マネジメント学部の「オリエンテーション費」の改定及び同費の新学部への設定に関する件
平成26年 6月 3日	373回	1 監事候補者の選定に関する件
平成26年 6月17日	374回	1 寄附行為第8条第3項に規定する理事選任に関する件
平成26年 6月24日	375回	1 理事長の選任に関する件
		2 監事の選任に関する件
		3 事業理事の指名に関する件
		4 常務理事の選任に関する件
		5 学識経験者理事の理事選任区分変更に関する件
平成26年 6月24日	376回	1 新学部設置認可申請に伴う平成26年度予算の補正について
平成26年10月28日	377回	1 有価証券の活用に関する件（1）
		2 有価証券の活用に関する件（2）
		3 平成27年度授業料等学費改定に関する件
		4 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件
		5 跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		6 平成26年度跡見学園収支補正（第2回）予算に関する件
		7 理事選任区分の変更の取り扱いに関する件
平成26年12月 2日	378回	1 平成26年度事業計画の進捗状況の中間報告に関する件
		2 収益事業に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件
		3 新学生寮への転寮に伴う在寮生の負担軽減に関する件

開催日	会議	議 案
平成27年 3月10日	379回	1 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		2 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		3 副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為施行細則の一部改正に関する件
		4 学長・副学長・校長・副校長任命規程の一部改正に関する件
		5 学長・副学長・校長・副校長の任期に関する規程の一部改正に関する件
		6 不動産（国登録有形文化財「旧伊勢屋質店」）の購入に関する件
		7 森鷗外『舞姫』の自筆草稿の購入に関する件
		8 有価証券の活用に関する件（1）
		9 有価証券の活用に関する件（2）
		10 平成26年度跡見学園収支補正（第3回）予算に関する件
平成27年 3月24日	380回	1 学校法人会計基準の一部改正に伴う学校法人跡見学園経理規程の一部改正に関する件
		2 学校法人跡見学園資金運用規程の一部改正に関する件
平成27年 3月24日	381回	1 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件
		2 跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		3 中学校高等学校ランドデザイン策定に関する件
		4 平成27年度跡見学園事業計画に関する件
		5 平成27年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		6 学校法人会計基準の一部改正に伴う募金趣意書の改訂に関する件

## ②評議員会

開催日	会議	議 案
平成26年 4月22日	321回	1 新学生寮の建築計画の1年前倒し及びこれに伴う現学生寮の原状回復に関する件
平成26年 5月27日	322回	1 平成25年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2 平成25年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3 マネジメント学部の「オリエンテーション費」の改定及び同費の新学部への設定に関する件
平成26年 6月 3日	323回	1 寄附行為第19条の2第4号及び第19条の2第5号に規定する評議員選任に関する件
平成26年 6月17日	324回	1 寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員追加選任に関する件
		2 第22期評議員会の議長選任に関する件
		3 寄附行為第8条第2項に規定する理事選任に関する件
		4 寄附行為第8条第3項に規定する理事選任に係る評議員会の意見聴取に関する件
		5 寄附行為第9条に規定する監事選任に係る評議員会の意見聴取及び同意に関する件
平成26年 6月24日	325回	1 役員及び評議員の改選終了の報告に関する件
		2 新学部設置認可申請に伴う平成26年度予算の補正について

開催日	会議	議案
平成26年10月28日	326回	1 有価証券の活用に関する件（1）
		2 有価証券の活用に関する件（2）
		3 平成27年度授業料等学費改定に関する件
		4 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件
		5 跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		6 平成26年度跡見学園収支補正（第2回）予算に関する件
平成26年12月2日	327回	1 平成26年度事業計画の進捗状況の中間報告に関する件
		2 収益事業に係る学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件
		3 新学生寮への転寮に伴う在寮生の負担軽減に関する件
平成27年3月10日	328回	1 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		2 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		3 副学長に係る学校法人跡見学園寄附行為施行細則の一部改正に関する件
		4 学長・副学長・校長・副校長任命規程の一部改正に関する件
		5 学長・副学長・校長・副校長の任期に関する規程の一部改正に関する件
		6 不動産（国登録有形文化財「旧伊勢屋質店」）の購入に関する件
		7 森鷗外『舞姫』の自筆草稿の購入に関する件
		8 有価証券の活用に関する件（1）
		9 有価証券の活用に関する件（2）
		10 平成26年度跡見学園収支補正（第3回）予算に関する件
平成27年3月24日	329回	1 跡見学園中学校学則の一部改正に関する件
		2 跡見学園高等学校学則の一部改正に関する件
		3 中学校高等学校グランドデザイン策定に関する件
		4 平成27年度跡見学園事業計画に関する件
		5 平成27年度跡見学園収入支出予算案に関する件
		6 学校法人会計基準の一部改正に伴う募金趣意書の改訂に関する件

## 2) 常務理事会

平成26年度は19回開催した。

## 3) 経営会議

平成26年度は35回開催した。

## 4) 理事長、顧問、常務理事、監事、公認会計士との意見交換会

平成26年度は平成26年5月15日（木）及び平成27年1月21日（水）に開催した。

## (2) 自己点検・評価

事業計画に基づき、教育研究活動、管理運営等の状況について、自己点検及び評価を行い、その結果を踏まえ、不断の改善に努めた。

## 1) 大学 自己点検・評価の実施〈※〉

女子大学においては平成23年度より導入している「自己点検・評価マネジメントシステム」（日本能率協会）を活用し、平成25年度に実施した学生に対するアンケートを再び実施し、指標項目を

埋めるとともに、各データを更に比較・分析できるようにした。

## 2) 中学校高等学校 学校評価アンケートの実施 (✳)

平成26年度は前年度に実施したアンケートの集計結果を分析し、これを経営会議等で報告するとともに、グランドデザインに反映させた。

## 3) 職員人事評価制度実施に係る評価者会議の実施

### ①目標難易度設定会議 (第1回)

日 時：8月2日 (土) 9:30~14:00、法人2階小会議室

参加者：法人事務局長、大学事務局長、中高副校長、法人総務部長

目標難易度設定会議 (第2回) 10月異動者対象

日 時：11月20日 (木) 10:30~12:30、法人2階小会議室

参加者：法人事務局長、大学事務局長、中高副校長、法人総務部長

### ②一次評価者会議 (本年度より各機関合同で実施)

日 時：2月28日 (土) 9:15~13:15、法人4階会議室

対 象：法人事務局長 (主宰)、中高副校長、大学事務局長、大学事務局次長、各機関課長職  
(14)、計18名

### ③二次評価者会議

日 時：3月30日 (月) 10:00~12:30、法人2階中会議室

対 象：法人事務局長 (主宰)、学長、副学長、大学事務局長、校長、副校長、法人総務部長、日本能率協会講師、計8名

## 4) JMA 大学SDフォーラム

日本能率協会研修 26年度大学SDフォーラムへの参加 (のべ54名)

セミナー名称	参加人数	開催日/開催時間
目標・計画設定と問題解決基礎セミナー	3	7月29日 (火)
業務改善入門セミナー	3	6月3日 (火)
タイムマネジメント基礎セミナー	3	6月16日 (月)
企画書・報告書の作成ノウハウ基本セミナー	3	9月9日 (火)
プレゼンテーションセミナー	3	8月21日 (木)
プロジェクトマネジメントセミナー	3	12月1日 (月)
ビジネスマナー入門セミナー	1	5月15日 (木)
対人折衝スキル基本セミナー	3	7月15日 (火)
ファシリテーションセミナー	3	9月16日 (火)
管理者のためのコーチングセミナー	3	8月26日 (火)
部下指導・OJT入門セミナー	3	9月30日 (火)
ストレスマネジメント基礎セミナー	3	9月22日 (月)
高等教育政策と大学改革の動向研究セミナー	3	11月7日 (金)
学校法人会計・財務基礎セミナー	3	7月4日 (金)
学生募集業務基本セミナー	2	11月28日 (金)
ID(インストラクション・デザイン) 入門セミナー	3	7月17日 (木)
キャリア支援担当者基礎セミナー	0	12月9日 (火)

セミナー名称	参加人数	開催日/開催時間
大学ガバナンス・マネジメント改革事例研究セミナー	3	10月9日(木)
これからの大学職員像と役割研究セミナー	3	7月2日(水)
【大学訪問】ー東京地区<上智大>	3	11月21日(金)

### (3) 情報公開

学園は、法令に基づき学生生徒、卒業生、学費負担者、事業関係者、その他一般市民の理解と協力を深め、学園の開かれた公正な運営に資するために、学園の概要、当該年度の事業概要、教育研究の概要、管理運営の概要、その他特徴ある取り組み概要、財務の概要等を、主に学園ホームページを通して、情報公開した。

また、平成25年度学園事業報告書及び収支決算書についてはホームページへの掲載のほか、7月に発行済みの跡見学園報第58号別冊にも掲載し、広く情報を公開した。

#### 1. Webサイト上での情報公開、Webサイトの充実(事業費:2,500千円 実施:適宜)

平成26年4月以降、年度更新による学部・学科等のカリキュラム情報の修正を行った。この他にも大学・中高で行われているイベントに関する情報発信も積極的に行っている。(実施費用1,583千円)

### (4) 施設設備・情報環境整備関係

#### 1) 施設環境の整備

##### ①事業計画の事業

##### ○法人事務局関係

(単位:千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
法人	<b>非常放送盤更新工事</b> 非常放送盤が老朽化(25年経過)しており、災害時の確実な作動を担保するため、更新を行った。	897	8・9月

##### ○校外施設

##### ・北軽井沢研修所

(単位:千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
北軽井沢 研修所	<b>可搬式動力消防ポンプ交換工事</b> 可搬式動力消防ポンプが老朽化し、作動不良を起こしていたため、更新を実施した。	2,085	4月
	<b>トイレ改修工事</b> トイレが老朽化し、和式便器が多かったため、便器の洋式化(16ヶ所)、床シートの張替等を行った。	3,243	6・7月

##### ○その他

##### ・学生寮関係

(単位:千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
学生寮	<b>食堂空調機更新工事</b> 食堂ツイン空調機3組の内、1組が故障し修理部品の供給も終了していたため、更新を行った。	827	5月

## ②それ以外の事業

## ○法人事務局関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
法人	電気室漏水受けステンレспан設置 地下電気室の高圧機器付近に雨漏りが確認されたため、排水管を付帯したドレパンを設置した。	789	8月

## ○校外施設

## ・鶴原関係

(単位：千円)

機関	事業項目	事業費	実施時期
鶴原	土砂崩れ面保護工事および隣家復旧工事 鶴原校地の山野部分の土砂が崩れ、隣家の物置部分も損傷したため、斜面の保護工事および隣家の復旧工事を行った。	3,277	8月

## 2) 情報環境の整備

## ①事業計画の事業

なし

## ②それ以外の事業

なし

## (5) 跡見学園規定等の変更

## 1) 学園関係

## (1) 「学校法人跡見学園資金運用規程」の一部改正 (第4条、第5条の文言修正)

平成26年 4 月15日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成26年 4 月 1 日

## (2) 「寄附行為」の一部改正 (第35条収益事業関係)

平成26年12月 2 日 (火) 理事会にて了承

認可日 平成27年 2 月 6 日

施行日 平成27年 4 月 1 日

## (3) 「組織規程」の一部改正 (地域連携追加)

平成27年 2 月26日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成27年 4 月 1 日

## (4) 「建物付帯設備及び教育研究用機器備品・管理用機器備品の耐用年数に関する内規」の一部改正

平成27年 2 月26日 (火) 経営会議にて了承

施行日 平成27年 4 月 1 日

## (5) 「学長・副学長・校長・副校長任命規程」の一部改正

平成27年 3 月10日 (火) 理事会にて了承

施行日 平成27年 4 月 1 日

- (6) 「学長・副学長・校長・副校長の任期に関する規程」の一部改定正  
平成27年3月10日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (7) 「寄附行為施行細則」の一部改正（副学長関係）  
平成27年3月10日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (8) 「学校法人跡見学園経理規程」の一部改正（学校法人会計基準改正関係）  
平成27年3月24日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (9) 「学校法人跡見学園資金運用規程」の一部改正（経理規程改正関係）  
平成27年3月24日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日

## 2) 大学

- (1) 「大学評議会規程」の一部改正（学校教育法改正関係）  
平成27年2月17日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (2) 「教授会規程」「大学院研究科委員会規程」の一部改正（学校教育法改正関係）  
平成27年2月17日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (3) 「女子大学学則」の一部改正（学校教育法改正関係）  
平成27年3月10日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (4) 「大学院学則」の一部改正（学校教育法改正関係）  
平成27年3月10日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (5) 「学部研究費規程」の一部改正  
平成27年3月10日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (6) 「跡見学園女子大学研究倫理に関する規程」の一部改正  
平成26年5月21日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成26年5月21日
- (7) 「跡見学園女子大学研究倫理審査委員会の運用に関する内規」の一部改正  
平成26年7月2日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成26年7月2日

- (8) 「学長選考委員会規程」の制定  
平成27年2月18日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (9) 「学長選考委員会運営規程」の制定  
平成27年2月18日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (10) 「学長及び副学長の職務及び任期、並びに学部長及び部館長等の任期及び選任等に関する規程」の制定  
平成27年2月18日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (11) 「跡見学園女子大学観光コミュニティ学部基礎ゼミナール運営会議規程」の制定  
平成27年2月24日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (12) 「校外指導出張及び校外見学・授業の実施プロセス、授業科目の選定及び実施条件」の一部改正  
平成27年2月24日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (13) 「跡見学園女子大学学位規程」の一部改正  
平成27年3月2日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (14) 「跡見学園女子大学大学院履修規程（平成27年度入学者より適用）」の一部改正  
平成27年3月2日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (15) 「跡見学園女子大学においてティーチングアシスタントを配置する授業科目を定める規則」の一部改正  
平成27年3月2日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (16) 「跡見学園女子大学自己点検・評価規程」の一部改正  
平成27年3月2日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (17) 「跡見学園女子大学履修規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (18) 「成績の評価及び単位の認定に関する規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日

- 
- (19) 「文学部・マネジメント学部における他学部他学科生等の履修を制限することができる科目に関する基準」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (20) 「観光コミュニティ学部における他学部他学科生等の履修を制限することができる科目に関する基準」の制定  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (21) 「跡見学園女子大学後援会修学援助奨学金規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (22) 「跡見校友会一紫会修学援助奨学金規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (23) 「学生団体の公認に関する規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (24) 「跡見学園女子大学全学共通科目運営センター規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (25) 「跡見学園女子大学図書館規程」の一部改正  
平成27年3月9日（月）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (26) 「他の大学等における履修、大学以外における学修及び入学前の既修得単位等の認定に関する規程」の一部改正  
平成27年3月25日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (27) 「転部及び転科に関する規程」の一部改正  
平成27年3月25日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (28) 「跡見花蹊記念奨学金（学業奨励賞）規程」の一部改正  
平成27年3月25日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日

- (29) 「跡見花蹊記念奨学生選考内規」の一部改正  
平成27年3月25日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (30) 「跡見校友会一紫会大学院奨学金（学業奨励賞）規程」の一部改正  
平成27年3月25日（水）大学評議会にて了承  
施行日 平成27年4月1日

### 3) 中学校高等学校

- (1) 「跡見学園中学校高等学校いじめ防止対策に関する規程」の制定  
平成26年9月30日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成26年9月1日
- (2) 「跡見学園中学校高等学校いじめ防止対策基本方針」の制定  
平成26年10月7日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成26年9月1日
- (3) 「跡見学園中学校高等学校個人研究費規程」の制定  
平成26年12月16日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (4) 「跡見学園中学校高等学校個人研究費の執行に関する内規」の制定  
平成26年12月16日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (5) 「跡見学園中学校高等学校学会費助成規程」の制定  
平成26年12月16日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (6) 「教務規程」の制定  
平成27年3月10日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (7) 「高等学校海外留学規程」の一部改正  
平成27年3月17日（火）経営会議にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (8) 「中学校学則」の一部改正（教務規程との整合）  
平成27年3月24日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日
- (9) 「高等学校学則」の一部改正（教務規程との整合）  
平成27年3月24日（火）理事会にて了承  
施行日 平成27年4月1日

**(6) 第22期役員改選について**

平成26年 6 月24日開催の第375回理事会における監事選任の確認をもって、寄附行為に基づく学校法人跡見学園第22期役員及び評議員の選任手続きを完了した。

## 1) 平成26年 5 月27日 (火) 第371回理事会

- ・教職員評議員 7 名の選任 (寄附行為第19条の 2 第 1 号に規定する評議員)
- ・卒業生評議員12名の選任 (寄附行為第19条の 2 第 2 号に規定する評議員)

## 2) 平成26年 6 月 3 日 (火) 第323回評議員会

- ・保証人評議員 7 名の選任 (寄附行為第19条の 2 第 4 号)
- ・学識経験者評議員 4 名の選任 (寄附行為第19条の 2 第 5 号)

## 3) 平成26年 6 月 3 日 (火) 第373回評理事会

- ・監事候補者 2 名の選任 (寄附行為第 9 条)

## 4) 平成26年 6 月17日 (火) 第324回評議員会

- ・保証人評議員 1 名の追加選任 (寄附行為第19条の 2 第 4 号)
- ・評議員会議長の選任 (寄附行為第22条第 1 項)
- ・評議員選出理事 6 名 (寄附行為第 8 条第 2 項)
- ・学識経験者理事 3 名の選任に必要な評議員会の意見聴取
- ・監事選任に必要な評議員会の意見聴取及び同意

## 5) 平成26年 6 月17日 (火) 第374回理事会

- ・学識経験者理事 3 名の選任 (寄附行為第 8 条第 3 項)

※嶋田 英誠は 6 月24日辞任し中学校高等学校長として寄附行為第 8 条第 1 項による理事を継続

## 6) 平成26年 6 月24日 (火) 第375回理事会

- ・理事長の選任 (寄附行為第 6 条第 1 項)
- ・監事の選任 (寄附行為第 9 条及び寄附行為施行細則第 8 条) 報告
- ・事業理事 1 名の指名 (寄附行為第 7 条第 4 項)
- ・常務理事 3 名の選任 (寄附行為第 7 条第 2 項)

## 7) 第22期役員及び評議員

## 第22期理事

	氏名	基礎資格	寄附行為	就任年月日	退任年月日
1	山崎一穎	理事長 学識経験者	第8条第1項 第8条第3項	平成26年6月24日 平成26年6月24日	平成29年6月23日 平成29年6月23日
2	山田徹雄	職務上・女子大学長 常務理事 (財務担当)	第8条第1項 第7条第2項	平成26年4月1日 平成26年6月24日	平成30年3月31日 平成29年6月23日
3	嶋田英誠	職務上・中高校長 常務理事 (教学担当)	第8条第1項 第7条第2項	平成24年4月1日 平成26年6月24日	平成28年3月31日 平成29年6月23日
4	堀雅裕	職務上・法人事務局長 事業理事 常務理事 (総務・人事担当)	第8条第1項 第7条第4項 第7条第2項	平成20年6月24日 平成26年6月24日 平成26年6月24日	平成29年6月23日 平成29年6月23日
5	大塚博	職務上・女子大副学長	第8条第1項	平成26年4月1日	平成30年3月31日
6	住川明子	職務上・中高副校長	第8条第1項	平成24年4月1日	平成28年3月31日
7	小仲信孝	評議員理事 (教職員)	第8条第2項	平成26年6月18日	平成29年6月17日
8	山下陽枝	評議員理事 (卒業生)	第8条第2項	平成26年6月18日	平成29年6月17日
9	大塚和子	評議員理事 (卒業生)	第8条第2項	平成26年6月18日	平成29年6月17日
10	見米孝尚	評議員理事 (保証人)	第8条第2項	平成26年6月18日	平成29年6月17日
11	佐藤正昭	評議員理事 (学識)	第8条第2項	平成26年6月18日	平成29年6月17日
12	日下部禮代子	評議員理事 (学識)	第8条第2項	平成26年6月18日	平成29年6月17日
13	平木典子	学識経験者	第8条第3項	平成26年6月24日	平成29年6月23日

以上13名

## 第22期監事

	氏名	基礎資格	寄附行為	就任年月日	退任年月日
1	金井塚清	学識経験者	第9条	平成26年6月30日	平成29年6月29日
2	伊澤辰雄	学識経験者	第9条	平成26年6月30日	平成29年6月29日

以上2名

## 第22期評議員

	氏名	基礎資格	寄附行為	就任年月日	退任年月日
1	小 仲 信 孝	教職員（大学教育職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
2	山 口 豊 一	教職員（大学教育職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
3	山 澤 成 康	教職員（大学教育職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
4	小 川 功	教職員（大学教育職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
5	伊 東 利 博	教職員（中高教育職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
6	詫 磨 学	教職員（事務職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
7	内 山 康 和	教職員（事務職員）	19条の2第1号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
8	岡 田 章 子	卒業生（泉会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
9	川 合 智 子	卒業生（泉会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
10	松 浦 仁 子	卒業生（泉会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
11	深 井 え り 子	卒業生（泉会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
12	山 下 陽 枝	卒業生（校友会長・桃李の会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
13	萬 葉 洋 子	卒業生（桃李の会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
14	田 中 恵 美 子	卒業生（桃李の会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
15	唐 木 フ ク	卒業生（桃李の会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
16	大 塚 和 子	卒業生（一紫会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
17	藤 田 理 恵 子	卒業生（一紫会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
18	池 田 文 子	卒業生（一紫会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
19	羽 吹 綾 子	卒業生（一紫会）	19条の2第2号	平成26年5月30日	平成29年5月29日
20	山 田 徹 雄	職務上・女子大学長	19条の2第3号	平成26年4月1日	平成30年3月31日
21	大 塚 博	職務上・女子大副学長	19条の2第3号	平成26年4月1日	平成30年3月31日
22	嶋 田 英 誠	職務上・中高校長	19条の2第3号	平成24年4月1日	平成28年3月31日
23	住 川 明 子	職務上・中高主事	19条の2第3号	平成24年4月1日	平成28年3月31日
24	堀 雅 裕	職務上・法人事務局長	19条の2第3号	平成20年6月24日	
25	邊 見 孝 之	保証人（大学）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
26	大 関 勝 浩	保証人（大学）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
27	河 野 政 美	保証人（大学）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
28	吉 田 修 一	保証人（大学）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
29	橋 本 禎 介	保証人（大学）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
30	見 米 孝 尚	保証人（中高）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
31	上 村 明	保証人（中高）	19条の2第4号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
32	川 崎 聖 朋	保証人（中高）	19条の2第4号	平成26年6月17日	平成29年6月9日
33	佐 藤 正 昭	学識経験者	19条の2第5号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
34	日下部 禧代子	学識経験者	19条の2第5号	平成26年6月10日	平成29年6月9日
35	宮 本 文 昭	学識経験者 評議員会議長	19条の2第5号 22条第1項	平成26年6月10日	平成29年6月9日
36	今 野 雅 裕	学識経験者	19条の2第5号	平成26年6月10日	平成29年6月9日

以上36名

**(7) 代表権者の登記について**

学校法人跡見学園第22期役員及び評議員の選任手続き完了をもって、当法人の代表権者の登記及び所轄庁への届出を行った。

代表権者	理事長 山崎一穎
	事業理事 堀 雅裕
登記日	平成26年7月8日(火)
所轄庁	文部科学省、東京都

**(8) 女子大学観光コミュニティ学部の設置認可について**

観光コミュニティ学部（観光デザイン学科・コミュニティデザイン学科）の設置について、文部科学大臣から平成26年10月31日に認可された。また、この認可に伴い、登記事項の一部変更（「学園の目的等」）をおこなった。

設置認可日	平成26年10月31日(金)
設置学部学科	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科      コミュニティデザイン学科
登記日	平成26年11月7日(金)

**(9) 校地・校舎としての土地・建物（旧伊勢屋質店）の取得について**

第379回理事会の承認を受け、樋口一葉ゆかりの国登録有形文化財「旧伊勢屋質店」（土地148.77㎡、別に私道部分30.29㎡のうち持ち分4分の1、建物105.77㎡、他に附属建物44.61㎡）を購入（文京区による購入補助金および維持費用補助金を含む）し、3月30日に所有権移転の登記を行った。

なお、購入に先立ち、3月26日付で文部科学大臣より校地・校舎としての使用証明を得た。

**<購入物件>**

- ①土地 所在 東京都文京区本郷5丁目  
地番 332番1  
地目 宅地 地籍 148.77㎡（別に私道部分30.29㎡のうち持ち分4分の1）
- ②建物 所在 東京都文京区本郷5丁目332番1  
家屋番号 89番  
種類 居宅/店舗 構造 木造瓦葺2階建  
床面積 1階 67.76㎡ 2階 38.01㎡ 合計 105.77㎡（登録簿）  
附属建物1 種類 倉庫、構造 木造瓦葺2階建（1階19.83㎡ 2階19.83㎡）  
附属建物2 種類 居宅 構造 木造鋼板・瓦葺平屋、床面積4.95㎡
- ③購入金額  
総額 139,500,000円（土地139,500,000円、建物0円）
- ④補助金  
文京区購入補助金 42,000,000円  
同 維持費用補助 2,800,000円/年
- ⑤跡見学園の負担金  
購入金額139,500,000円－文京区補助金42,000,000円＋仲介手数料2,400,000円（税込）  
＝99,900,000円
- ⑥売主 永瀬智江子氏、永瀬秀一氏（仲介業者：積和不動産（株））
- ⑦売買契約 平成27年3月11日
- ⑧報道発表 平成27年3月12日 12:30 文京区長・大学学長共同記者会見

**(10) 調査**

## 1) 文京区廃棄物再利用立入調査

調査年月日	平成26年6月12日(木)
調査内容	リサイクルのグリーンボックスの活用により、資源ゴミの再利用率を高めているところであるが、その取組に対する文京区の立入調査が行われた。
調査場所	文京キャンパス
調査機関	文京区資源環境部リサイクル清掃課

## 2) 平成26年度補助金の執行に係る現地検査

調査年月日	平成27年2月24日(火)
調査内容	平成26年度補助金交付前に、事業計画に従い整備されたかどうかの現地調査が行われた。 平成26年度私立学校施設整備費補助金(私立高等学校等施設高機能化整備費): 中高校舎北面外壁・屋根補修工事、中高空調設備改修工事(第3期)
調査場所	中学校高等学校校舎
調査機関	東京都生活文化局私学部私学振興課助成係

**(11) 学園広報関係** (〈❖〉印は平成26年度事業計画事業)

## 1) 学園情報誌『ブロッサム』の発行(17,282,324円)〈❖〉

学園広報誌として7月に37号(特集:2015年度 大学に新学部誕生!常に時代の一步先を行く跡見学園)を65,000部、1月に38号(特集:学園創立140年 ごきげんよう跡見学園)を64,000部発行した。主な配布先は、生徒・学生、卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。なお、37号には平成25年度学園の決算を公開したほか、各号とも学園ならびに各設置校の最新情報を掲載した。

## 2) 『跡見学園報』の発行(676,080円)

学園報第58号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画を公表した。平成27年1月、学園報第59号を発行した(のべ2,000冊)。

## 3) Web環境の整備〈❖〉

- ・学園ホームページに、平成26年7月30日(水)付で、平成25年度事業報告書・平成26年度事業計画書を公開した。また、学園情報誌『ブロッサム』についても37号は平成26年7月25日(金)付、38号は平成27年1月9日(金)付で学園ホームページに公開した。
- ・校友メールマガジン「あとみネット」を、No.635からNo.675まで配信した。(メールマガジン配信システム利用料:388,000円)
- ・平成25年4月にリニューアルした学園3機関(中高・大学・法人)のホームページについて、平成27年度に開設される新学部の情報を追加し、また情報をより探しやすく使いやすくするための改修を行った。(改修費用:1,285,200円、保守費用:298,080円)

## 4) イメージ広告等

## ①交通広告(6,778,080円)〈❖〉

昨年度に引き続き、「A」のロゴ(デュアルキャンパス)をメインに使用した学園広告ならびに広く一般に「跡見」の知名度を上げるための広告を、以下の通り掲出した。

また、本年度も昨年度好評だった3月の高校卒業式ならびに大学卒業式に合わせた「卒業おめでとう」広告を、学園下車駅の丸ノ内線茗荷谷駅ならびに大学の卒業式会場である文京シビックホールの最寄駅である後楽園駅において展開した。

企画内容	実施時期	掲出路線・駅等
東急エチケットボード	平成26年4月1日～平成27年3月31日 (平成27年4月1日以降も日吉を除いて継続中)	自由が丘・二子玉川・あざみ野・日吉・横浜
大学連合ポスター	平成26年7月1日～7月7日 平成26年12月6日～12月22日	<中吊りポスター> JR東海道線、小田急全線
	平成26年7月1日～7月14日 平成26年12月6日～12月22日	<窓上ポスター> 西武全線・東武東上線
	平成26年12月6日～12月22日	<駅貼りポスター> 札幌・青森・弘前・森岡・秋田・一ノ関・仙台・山形・福島・郡山・新潟・長岡・宇都宮・前橋・高崎・大宮・熊谷・実と・土浦・船橋・千葉・八王子・松本・長野・池袋・新宿・渋谷・横浜・東京・上野・静岡
JR武蔵野線、東武東上線、西武線全線大学連企画	平成26年4月1日～平成27年3月31日	沿線大学案内窓上
都バス大塚車庫前停留所車内アナウンス	平成26年4月1日～平成27年3月31日 (平成27年4月1日以降も大塚車庫廃止に伴い停留所名が「大塚車庫前」から「窪町小学校」に変更されて継続中)	都02 (大塚駅～錦糸町駅) 都02乙 (池袋駅～一ツ橋)
高校卒業式(3/3)及び大学卒業式(3/18)向け企画	平成27年2月27日～平成27年3月5日 平成27年3月2日～平成27年3月8日	丸ノ内線茗荷谷駅駅貼りポスター(高校卒業式向け)
	平成27年3月13日～平成26年3月19日 平成27年3月16日～平成26年3月22日	丸ノ内線茗荷谷駅駅貼りポスター(大学卒業式向け)
	平成27年3月16日～平成26年3月22日	南北線後楽園駅駅貼りポスター(大学卒業式向け)

②グッズ制作 (6,484,104円) <✳>

前年度方針を継承し、ゲルインキボールペン、夏の猛暑対策用の香り付きうちわ(オリジナルデザイン、ローズの香り付き)、オリジナルラベルのナチュラルウォーター、ココフセン、赤手提げ袋(大・小)を制作した。

③Bーぐるバス/都営バス時刻表 (270,000円)

文京区のコミュニティバス(Bーぐるバス)と都営バスの時刻表(どちらも読売新聞の折込広告)に学園広告を掲出した。

④その他新聞・雑誌・Web等の広告掲出 (1,0364,374円) <✳>

受験生・保護者が見ることを想定し、新聞の連合広告・受験雑誌等に広告を掲出した。

⑤文京区ホームページへの学園バナー広告掲出(年間:192,000円、本年度分は64,000円)

学園知名度をアップさせることを目的とし、文京区ホームページに学園のバナー広告を掲出した。

⑥<大学用>ロゴ入り「スポーツジャケット」および「ドライポロシャツ」の製作 (491,400円)

学生が、地域連携等により、外部に出て活躍する機会が増えてきたため、大学のオープンキャンパス等のイベント時にも着用できるオリジナルのロゴ入り「スポーツジャケット」と「ドライポロシャツ」を製作した。

⑦『歴史街道』への広告掲出と抜き刷りの製作 (1,296,000円)

PHP研究所発行の雑誌『歴史街道』2月号、4月号に学園広告を掲出した。2月号の第二特集「女子大学創立者ものがたり」では学祖跡見花蹊が採り上げられたので、これの抜き刷りを10,000部製作した。

5) 駅看板ほか (✳)

学園及び大学の広報の一環として、駅看板掲出(14駅)及び、文京区高齢者クラブ広報誌への広告の掲載を行った。(看板掲出費用等:12,999,762円)

企画内容	実施時期	掲出路線・駅等
駅看板	平成26年4月1日～平成27年3月31日 (平成27年4月1日以降も継続中)	東京メトロ 丸の内線池袋駅・茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅、副都心線渋谷駅 ※渋谷駅は平成27年1月8日に移設を行った。 (移設費用:129,600円) J R 武蔵野線(北朝霞駅・新座駅・新松戸駅・西国分寺駅・武蔵浦和駅・新秋津駅)、中央線(御茶ノ水駅)、京浜東北線(南浦和駅)、総武線(西船橋駅) 東武東上線 志木駅
ナビタ (駅周辺案内)	平成26年4月1日～平成27年3月31日 (平成27年4月1日以降も継続中)	東京メトロ有楽町線 護国寺駅
消火栓標識	平成26年4月1日～平成27年3月31日 (平成27年4月1日以降も継続中)	東京メトロ有楽町線 護国寺駅付近の消火栓
雑誌広告	平成26年7月1日発行	文京区高齢者クラブ連合会広報誌「文高連広報」第39号

(12) 各種補助金の獲得について

交付元	補助金名	対象	内 容	交付額※
文部科学省	平成26年度 私立学校施設設備費補助金	中高	空調設備改修工事(第3期) (FCU・全熱交換器更新工事)	17,712,000円
文部科学省	平成26年度 私立学校施設設備費補助金	中高	校舎北面外壁・屋根補修工事	12,795,000円
東京都 私学財団	平成26年度 私立学校非構造部材耐震対策工 事費 助成事業	中高	校舎北面外壁・屋根補修工事	12,794,000円
東京都	平成26年度 結核予防費都費補助金	大学 高校	健康診断(胸部X線)を受診し た1年生及び編入生に対する人 数分の補助	403,472円
東京都	平成26年度 私立学校経常費補助金	中高	一般補助及び特別補助	458,168,300円
私学事業団	平成26年度 私立大学等経常費補助金	大学	一般補助及び特別補助	196,307,000円

※実績額の確定は次年度となる場合がある。

### Ⅲ. 財 務 の 概 要

#### 1. 平成26年度跡見学園収支決算について

##### (1) 資金収支計算書

資金収支計算書  
平成26年 4月 1日から  
平成27年 3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,339,495,000	5,357,256,007	△ 17,761,007
授業料収入	3,863,412,000	3,827,189,633	36,222,367
入学金収入	418,745,000	486,217,500	△ 67,472,500
実験実習料収入	24,280,000	22,032,204	2,247,796
施設設備資金収入	966,218,000	955,190,670	11,027,330
冷暖房費収入	66,840,000	66,626,000	214,000
手数料収入	98,165,000	93,556,530	4,608,470
入学検定料収入	91,485,000	86,470,000	5,015,000
証明手数料収入	2,320,000	2,092,000	228,000
大学入試センター試験実施手数料収入	4,360,000	4,994,530	△ 634,530
寄付金収入	155,483,000	146,323,705	9,159,295
特別寄付金収入	54,844,000	54,846,500	△ 2,500
一般寄付金収入	100,639,000	91,477,205	9,161,795
補助金収入	740,245,000	702,735,772	37,509,228
国庫補助金収入	250,507,000	226,814,000	23,693,000
地方公共団体補助金収入	483,214,000	472,156,772	11,057,228
都私学財団補助金収入	6,524,000	3,765,000	2,759,000
資産運用収入	37,000,000	34,641,632	2,358,368
受取利息・配当金収入	37,000,000	32,457,112	4,542,888
施設設備利用料収入	0	2,184,520	△ 2,184,520
資産売却収入	900,000,000	1,000,000,000	△ 100,000,000
有価証券売却収入	900,000,000	1,000,000,000	△ 100,000,000
事業収入	118,664,000	107,773,427	10,890,573
補助活動収入	116,168,000	102,588,504	13,579,496
収益事業収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
受託事業収入	2,496,000	3,184,923	△ 688,923
雑収入	96,955,000	122,075,287	△ 25,120,287
東京都私学財団交付金収入	46,766,000	51,037,421	△ 4,271,421
私立大学退職金財団交付金収入	42,569,000	61,908,900	△ 19,339,900
その他の雑収入	7,620,000	9,128,966	△ 1,508,966
前受金収入	1,294,624,000	1,099,253,000	195,371,000
授業料前受金収入	624,764,000	514,216,000	110,548,000
入学金前受金収入	385,100,000	340,450,000	44,650,000

実験実習料前受金収入	11,040,000	8,880,000	2,160,000
施設設備資金前受金収入	273,720,000	235,695,000	38,025,000
冷暖房費前受金収入	0	12,000	△ 12,000
その他の収入	340,313,000	12,075,666,181	△ 11,735,353,181
退職給与引当特定資産からの繰入収入	0	609,700,000	△ 609,700,000
建物償却引当特定資産からの繰入収入	0	2,400,000,000	△ 2,400,000,000
法人維持特定資産からの繰入収入	0	2,389,340,000	△ 2,389,340,000
前期末未収入金収入	240,313,000	232,724,132	7,588,868
仮払金回収収入	0	123,381,298	△ 123,381,298
前渡金回収収入	0	772,268	△ 772,268
預り金受入収入	0	1,580,355,918	△ 1,580,355,918
修学旅行費預り金収入	0	72,284,496	△ 72,284,496
仮受金受入収入	0	4,567,108,069	△ 4,567,108,069
敷金収入	100,000,000	100,000,000	0
資金収入調整勘定	△ 1,309,528,000	△ 1,360,214,969	50,686,969
期末未収入金	△ 100,835,000	△ 151,521,969	50,686,969
前期末前受金	△ 1,208,693,000	△ 1,208,693,000	0
前年度繰越支払資金	6,764,712,000	6,764,711,082	
収入の部合計	14,576,128,000	26,143,777,654	△ 11,567,649,654

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,663,128,000	3,581,069,407	82,058,593
教員人件費支出	2,427,729,000	2,361,870,816	65,858,184
職員人件費支出	1,082,624,000	1,051,620,369	31,003,631
役員報酬支出	35,445,000	34,164,222	1,280,778
退職金支出	117,330,000	133,414,000	△ 16,084,000
教育研究経費支出	1,297,782,000	1,189,950,317	107,831,683
準備品費支出	686,000	5,177,873	△ 4,491,873
消耗品費支出	124,972,000	92,986,624	31,985,376
光熱水費支出	128,856,000	135,917,121	△ 7,061,121
通信運搬費支出	25,196,000	23,021,918	2,174,082
福利費支出	24,528,000	22,009,424	2,518,576
出版物費支出	46,893,000	45,710,625	1,182,375
印刷製本費支出	49,145,000	38,427,694	10,717,306
旅費交通費支出	45,316,000	41,025,530	4,290,470
奨学費支出	55,754,000	50,212,400	5,541,600
修繕費支出	110,252,000	110,088,310	163,690
施設取壊費支出	12,800,000	11,954,160	845,840
保険料支出	3,477,000	3,496,391	△ 19,391
賃借料支出	39,408,000	36,018,093	3,389,907
諸会費支出	9,494,000	7,533,063	1,960,937

学生・生徒会補助金支出	3,650,000	3,038,331	611,669
広告費支出	5,920,000	5,926,272	△ 6,272
会議費支出	145,000	136,806	8,194
食事費支出	8,325,000	3,736,685	4,588,315
支払手数料支出	7,895,000	9,186,186	△ 1,291,186
教育実習謝礼支出	965,000	742,000	223,000
渉外費支出	3,034,000	2,721,174	312,826
業務委託費支出	590,548,000	540,384,300	50,163,700
雑費支出	523,000	499,337	23,663
管理経費支出	813,847,000	757,978,877	55,868,123
準備品費支出	146,000	382,697	△ 236,697
消耗品費支出	28,141,000	16,152,041	11,988,959
光熱水費支出	20,892,000	22,226,443	△ 1,334,443
通信運搬費支出	12,683,000	9,716,083	2,966,917
福利費支出	9,973,000	8,636,057	1,336,943
出版物費支出	1,532,000	999,081	532,919
印刷製本費支出	25,537,000	23,190,711	2,346,289
旅費交通費支出	14,436,000	10,754,650	3,681,350
修繕費支出	16,925,000	19,076,349	△ 2,151,349
保険料支出	1,517,000	1,230,808	286,192
賃借料支出	101,713,000	101,467,352	245,648
公租公課支出	868,000	281,461	586,539
諸会費支出	8,387,000	6,790,615	1,596,385
広告費支出	126,814,000	140,073,434	△ 13,259,434
会議費支出	1,226,000	966,962	259,038
食事費支出	3,736,000	2,738,617	997,383
支払手数料支出	15,022,000	12,893,643	2,128,357
渉外費支出	6,587,000	4,237,902	2,349,098
業務委託費支出	396,856,000	347,987,960	48,868,040
雑費支出	20,856,000	28,176,011	△ 7,320,011
施設関係支出	324,943,000	307,306,928	17,636,072
土地支出	141,900,000	142,036,688	△ 136,688
建物支出	183,043,000	165,270,240	17,772,760
設備関係支出	303,671,000	240,490,595	63,180,405
教育研究用機器備品支出	268,663,000	203,217,519	65,445,481
その他の機器備品支出	8,645,000	11,142,686	△ 2,497,686
図書支出	26,363,000	26,130,390	232,610
資産運用支出	1,700,000,000	7,099,040,000	△ 5,399,040,000
有価証券購入支出	900,000,000	900,000,000	0
退職給与引当特定資産への繰入支出	0	609,700,000	△ 609,700,000
建物償却引当特定資産への繰入支出	500,000,000	2,900,000,000	△ 2,400,000,000
法人維持特定資産への繰入支出	300,000,000	2,689,340,000	△ 2,389,340,000
その他の支出	119,000,000	6,500,980,774	△ 6,381,980,774

仮払金支払支出	0	114,348,088	△ 114,348,088
前渡金支払支出	0	772,268	△ 772,268
前払金支払支出	25,000,000	54,565,622	△ 29,565,622
仮受金支払支出	0	4,537,176,167	△ 4,537,176,167
預り金支払支出	0	1,587,925,699	△ 1,587,925,699
修学旅行費預り金支出	0	72,284,496	△ 72,284,496
前期末未払金支出	94,000,000	133,908,434	△ 39,908,434
[ 予備費 ]	( 0 ) 50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	△ 119,000,000	△ 157,959,055	38,959,055
期末未払金	△ 94,000,000	△ 107,290,564	13,290,564
前期末前払金	△ 25,000,000	△ 50,668,491	25,668,491
次年度繰越支払資金	6,422,757,000	6,624,919,811	△ 202,162,811
支出の部合計	14,576,128,000	26,143,777,654	△ 11,567,649,654

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、及びその年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成26年度の収入の部合計は26,143,777,654円でした。一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、19,518,857,843円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、6,624,919,811円となりました。前年度繰越支払資金が6,764,711,082円でしたので、平成26年度決算の支払資金としては、平成25年度末と比べて139,791,271円（約2.07%）の減となりました。

また、前受金収入1,099,253,000円（平成27年度入学者に係る学納金等の額）を除いた平成26年度における実質的な次年度支払資金は5,525,666,811円となりました。

## (2) 消費収支計算書

### 消費収支計算書

平成26年 4 月 1 日から

平成27年 3 月31日まで

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,339,495,000	5,357,256,007	△ 17,761,007
授業料	3,863,412,000	3,827,189,633	36,222,367
入学金	418,745,000	486,217,500	△ 67,472,500
実験実習料	24,280,000	22,032,204	2,247,796
施設設備資金	966,218,000	955,190,670	11,027,330
冷暖房費	66,840,000	66,626,000	214,000
手数料	98,165,000	93,556,530	4,608,470
入学検定料	91,485,000	86,470,000	5,015,000
証明手数料	2,320,000	2,092,000	228,000
大学入試センター試験実施手数料	4,360,000	4,994,530	△ 634,530
寄付金	155,483,000	163,897,946	△ 8,414,946
特別寄付金	54,844,000	54,846,500	△ 2,500

一般寄付金	100,639,000	91,477,205	9,161,795
現物寄付金	0	17,574,241	△ 17,574,241
補助金	740,245,000	702,735,772	37,509,228
国庫補助金	250,507,000	226,814,000	23,693,000
地方公共団体補助金	483,214,000	472,156,772	11,057,228
都私学財団補助金	6,524,000	3,765,000	2,759,000
資産運用収入	37,000,000	34,641,632	2,358,368
受取利息・配当金	37,000,000	32,457,112	4,542,888
施設設備利用料	0	2,184,520	△ 2,184,520
事業収入	118,664,000	107,773,427	10,890,573
補助活動収入	116,168,000	102,588,504	13,579,496
収益事業収入	0	2,000,000	△ 2,000,000
受託事業収入	2,496,000	3,184,923	△ 688,923
雑収入	50,189,000	98,371,017	△ 48,182,017
私立大学退職金財団交付金	42,569,000	61,908,900	△ 19,339,900
その他の雑収入	7,620,000	9,243,864	△ 1,623,864
退職給与引当金戻入額	0	27,218,253	△ 27,218,253
帰属収入合計	6,539,241,000	6,558,232,331	△ 18,991,331
基本金組入額合計	△ 524,239,000	△ 309,791,649	△ 214,447,351
消費収入の部合計	6,015,002,000	6,248,440,682	△ 233,438,682

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,695,798,000	3,471,572,267	224,225,733
教員人件費	2,427,729,000	2,361,870,816	65,858,184
職員人件費	1,082,624,000	1,051,620,369	31,003,631
役員報酬	35,445,000	34,164,222	1,280,778
退職金	0	1,700,000	△ 1,700,000
退職給与引当金繰入額	150,000,000	22,216,860	127,783,140
教育研究経費	2,039,053,000	1,928,532,592	110,520,408
準備品費	686,000	5,177,873	△ 4,491,873
消耗品費	124,972,000	92,986,624	31,985,376
光熱水費	128,856,000	135,917,121	△ 7,061,121
通信運搬費	25,196,000	23,021,918	2,174,082
福利費	24,528,000	22,009,424	2,518,576
出版物費	46,893,000	45,710,625	1,182,375
印刷製本費	49,145,000	38,427,694	10,717,306
旅費交通費	45,316,000	41,025,530	4,290,470
奨学費	55,754,000	50,212,400	5,541,600
修繕費	110,252,000	110,088,310	163,690
施設取壊費	12,800,000	11,954,160	845,840
保険料	3,477,000	3,496,391	△ 19,391
賃借料	39,408,000	36,018,093	3,389,907

諸会費	9,494,000	7,533,063	1,960,937
学生生徒会補助金	3,650,000	3,038,331	611,669
広告費	5,920,000	5,926,272	△ 6,272
会議費	145,000	136,806	8,194
食事費	8,325,000	3,736,685	4,588,315
支払手数料	7,895,000	9,186,186	△ 1,291,186
教育実習謝礼	965,000	742,000	223,000
渉外費	3,034,000	2,721,174	312,826
業務委託費	590,548,000	540,384,300	50,163,700
雑費	523,000	499,337	23,663
減価償却額	741,271,000	738,582,275	2,688,725
管理経費	887,658,000	835,123,983	52,534,017
準備品費	146,000	382,697	△ 236,697
消耗品費	28,141,000	16,152,041	11,988,959
光熱水費	20,892,000	22,226,443	△ 1,334,443
通信運搬費	12,683,000	9,716,083	2,966,917
福利費	9,973,000	8,636,057	1,336,943
出版物費	1,532,000	999,081	532,919
印刷製本費	25,537,000	23,190,711	2,346,289
旅費交通費	14,436,000	10,754,650	3,681,350
修繕費	16,925,000	19,076,349	△ 2,151,349
保険料	1,517,000	1,230,808	286,192
賃借料	101,713,000	101,467,352	245,648
公租公課	868,000	281,461	586,539
諸会費	8,387,000	6,790,615	1,596,385
広告費	126,814,000	140,073,434	△ 13,259,434
会議費	1,226,000	966,962	259,038
食事費	3,736,000	2,738,617	997,383
支払手数料	15,022,000	12,893,643	2,128,357
渉外費	6,587,000	4,237,902	2,349,098
業務委託費	396,856,000	347,987,960	48,868,040
雑費	20,856,000	28,176,011	△ 7,320,011
減価償却額	73,811,000	77,145,106	△ 3,334,106
資産処分差額	1,370,000	15,331,018	△ 13,961,018
建物処分差額	180,000	1,411,262	△ 1,231,262
教育研究用機器備品処分差額	150,000	365,799	△ 215,799
その他の機器備品処分差額	40,000	2,285,012	△ 2,245,012
図書処分差額	1,000,000	11,268,945	△ 10,268,945
徴収不能額	0	4,101,000	△ 4,101,000
徴収不能額	0	4,101,000	△ 4,101,000
[ 予備費 ]	( 0 )		50,000,000
消費支出の部合計	6,673,879,000	6,254,660,860	419,218,140

当年度消費支出超過額	658,877,000	6,220,178	
前年度繰越消費支出超過額	3,704,229,000	3,704,228,828	
翌年度繰越消費支出超過額	4,363,106,000	3,710,449,006	

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれます。

平成26年度の帰属収入のうち、学生生徒納付金、寄付金、雑収入が予算額を上回り、手数料、補助金および資産運用収入が予算額を下回ったため、帰属収入合計では、予算に対して18,991,331円増の6,558,232,331円（予算比0.29%増）となりました。一方、基本金組入額は予算を214,471,351円下回ったため、消費収入の部合計は、予算を233,438,682円上回り、6,248,440,682円となりました。

消費支出については、人件費が全体で予算を224,225,733円下回ったほか、教育研究経費が110,520,408円、管理経費が52,534,017円、それぞれ予算を下回りました。資産処分差額については、予算を13,961,018円上回りました。予算には計上していない学生生徒等納付金に係る徴収不能額については、4,101,000円の支出額となりました。また、予備費50,000,000円は未執行でした。これらにより、消費支出の部合計は、予算を419,218,140円下回り、6,254,660,860円となりました。

以上のとおり、消費支出が消費収入を上回った結果、当年度消費支出超過額は6,220,178円となり、限りなく収支均衡が整った結果となりました。

### (3) 貸借対照表

#### 貸借対照表 平成27年 3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	24,919,120,335	24,784,692,072	134,428,263
有形固定資産	16,625,998,825	16,891,531,962	△ 265,533,137
土地	1,955,108,121	1,813,071,433	142,036,688
建物	11,223,861,860	11,596,158,559	△ 372,296,699
構築物	136,274,710	167,425,577	△ 31,150,867
教育研究用機器備品	470,325,014	485,131,833	△ 14,806,819
その他の機器備品	93,798,042	112,722,196	△ 18,924,154
図書	2,746,182,331	2,715,742,811	30,439,520
車両	448,747	1,279,553	△ 830,806
その他の固定資産	8,293,121,510	7,893,160,110	399,961,400
敷金	15,428,580	115,428,580	△ 100,000,000
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	86,851	125,451	△ 38,600
有価証券	0	300,000,000	△ 300,000,000

収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	3,000,000	3,000,000	0
退職給与引当特定資産	927,600,000	927,600,000	0
建物償却引当特定資産	4,000,000,000	3,500,000,000	500,000,000
法人維持特定資産	3,330,440,000	3,030,440,000	300,000,000
流動資産	7,348,826,427	7,389,006,888	△ 40,180,461
現金預金	6,624,919,811	6,764,711,082	△ 139,791,271
修学旅行費預り資産	31,167,274	41,117,222	△ 9,949,948
未収入金	147,420,969	232,724,132	△ 85,303,163
仮払金	1,106,227	10,139,437	△ 9,033,210
前払金	44,212,146	40,315,015	3,897,131
有価証券	500,000,000	300,000,000	200,000,000
資産の部合計	32,267,946,762	32,173,698,960	94,247,802

(単位：円)

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,700,690,407	1,786,368,379	△ 85,677,972
退職給与引当金	1,700,690,407	1,786,368,379	△ 85,677,972
流動負債	1,372,541,659	1,496,187,356	△ 123,645,697
前受金	1,099,253,000	1,208,693,000	△ 109,440,000
仮受金	30,045,950	114,048	29,931,902
預り金	104,784,871	112,354,652	△ 7,569,781
修学旅行費預り金	31,167,274	41,117,222	△ 9,949,948
未払金	107,290,564	133,908,434	△ 26,617,870
負債の部合計	3,073,232,066	3,282,555,735	△ 209,323,669
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	32,365,163,702	32,055,372,053	309,791,649
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	32,905,163,702	32,595,372,053	309,791,649
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,710,449,006	3,704,228,828	6,220,178
消費収支差額の部合計	△ 3,710,449,006	△ 3,704,228,828	△ 6,220,178
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	32,267,946,762	32,173,698,960	94,247,802

固定資産のうち有形固定資産については、土地、施設、設備の取得額よりも減価償却額及び除却額（主に女子大学仮設校舎及び学生寮除却）が上回ったことにより、有形固定資産の差引期末残高は265,533,137円減少し、16,625,998,825円となりました。また、その他の固定資産については、特定資産への積立のほか、有価証券売却及び敷金の返還を受けたことにより、全体で399,961,400円増加し、8,293,121,510円となりました。流動資産については、有価証券購入のほか、現金預金、未収入金等の減少により、全体で40,180,461円減少し、7,348,826,427円となりました。

---

固定負債の退職給与引当金が85,677,972円減少し、流動負債のうち前受金が109,440,000円減少するなど、流動負債全体で123,645,697円減少したことにより、負債の部の合計は、209,323,669円減少し、3,073,232,066円となりました。

基本金の部は、309,791,649円増加し、32,905,163,702円となりました。また、消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費支出超過額である6,220,178円が増加となつて、3,710,449,006円となりました。

## (4) 財産目録

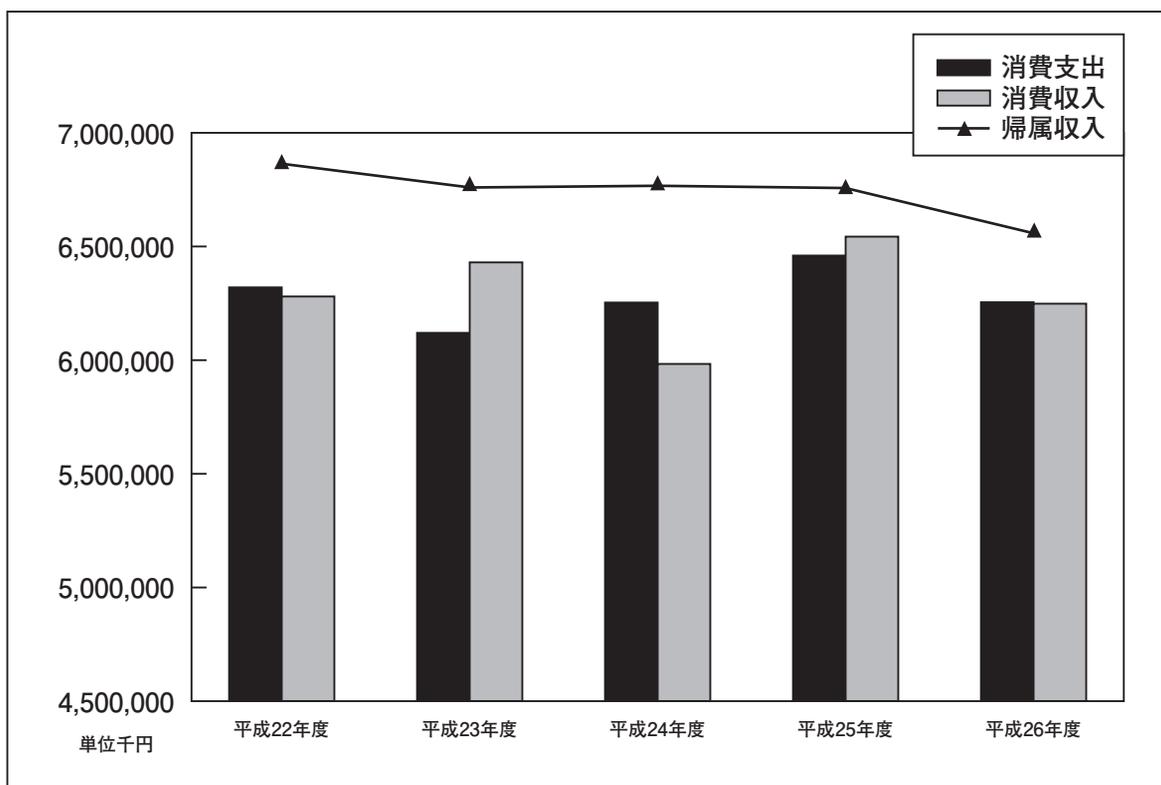
## 財 産 目 録

平成27年 3 月31日

I 資産総額	32,267,946,762円
内 (一) 基本財産	16,625,998,825円
(二) 運用財産	15,641,947,937円
II 負債総額	3,073,232,066円
III 正味財産	29,194,714,696円

区分		金額
一 資産		
(一) 基本財産		
1 土地	233,254.38㎡	1,955,108,121円
(1) 校地	233,254.38㎡	1,955,108,121円
2 建物	74,723.34㎡	11,223,861,860円
(1) 校舎	70,816.43㎡	10,961,344,149円
(2) 校外	2,157.26㎡	179,033,091円
(3) 法人棟	1,749.65㎡	83,484,620円
3 教具、校具、備品	34,113点	564,123,056円
4 図書	540,028冊	2,746,182,331円
5 その他		136,723,457円
(二) 運用財産		
1 現金預金		6,624,919,811円
2 積立金		8,258,040,000円
3 その他		758,988,126円
総額		32,267,946,762円
二 負債		
(一) 固定負債		
1 退職給与引当金		1,700,690,407円
(二) 流動負債		
1 前受金		1,099,253,000円
2 未払金		107,290,564円
3 その他		165,998,095円
総額		3,073,232,066円
正味財産 (資産総額-負債総額)		29,194,714,696円

## 2. 過去5年間の収支決算の推移について



帰属収入 負債とならない収入  
 消費収入 帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に充てられる収入  
 消費支出 消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品費、旅費交通費等）

## 3. 過去5年間の主要財務比率の推移について

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人件費率	50.9%	52.0%	52.2%	55.8%	52.9%
人件費依存率	63.6%	64.5%	65.2%	68.4%	64.8%
教育研究費比率	29.5%	27.5%	28.3%	28.4%	29.4%
帰属収支差額比率	7.9%	9.6%	7.7%	3.8%	4.6%
学生生徒等納付金比率	80.1%	80.6%	80.0%	81.5%	81.7%
補助金比率	11.5%	10.7%	12.1%	10.8%	10.7%

※財務比率計算式

項目	評価	計算式
人件費率	低い値がよい	人件費/帰属収入
人件費依存率	低い値がよい	人件費/学生生徒等納付金
教育研究費比率	高い値がよい	教育研究経費/帰属収入
帰属収支差額比率	高い値がよい	帰属収入-消費支出/帰属収入
学生生徒等納付金比率	どちらともいえない	学生生徒等納付金/帰属収入
補助金比率	高い値がよい	補助金/帰属収入

## Ⅳ. 収 益 事 業 の 概 要

### (1) 概 要

平成26年度の収益事業部（以下「事業部」という。）は、前年度から引き続き専任職員1名、アルバイト職員1名及び派遣職員1名が業務を担当し、例年どおり主として中学校高等学校の教科書、学用品及びスポーツ用品の販売並びに駐車場賃貸業務を行った。

平成26年度は、自己契約率との関係から11月より平成29年3月に向けて損保の代理店業務を段階的に縮小していくこととなった。また、これまで年間経常収入の約半分を占め、収益事業の経営の安定に貢献して来た音羽駐車場（年間賃料19,920千円）は、平成27年4月からその敷地の用途を学生寮に変更するため、平成26年5月26日に学園に返還され、以後、その賃料収入がなくなった。ただし、この音羽駐車場に代わり、平成25年12月20日からは、小日向テニスコートの敷地を駐車場（時間貸し20台、月極28台）として銀泉（株）に賃貸（年間賃料12,960千円）している。

この音羽の新たな学生寮（メゾン音羽）の平成27年4月設置に伴い、その敷地の土地を（株）共立メンテナンスに賃貸（定期借地）することから生じる賃貸料を事業会計に繰り入れるため、文部科学省に対して収益事業に係る寄附行為変更認可申請を行い、平成27年2月6日に認可を受けたところである。

駐車場以外の事業部の主たる業務である中学高校の学用品販売（教科書・副教材等その他指定用品）は、中学入学予定者数が減少したことに伴い商品売り上げが減り、副読本の購入が伸びて書籍売上が増加した。

また、平成24年度から収益事業部の職員が専任職員1名（平成23年度までは2名）とアルバイト職員1名、派遣職員1名の計3名の構成となって以来、その人件費減もまた、引き続き経常利益に貢献している。

その結果、学園への寄付金2,000千円を計上した上で、経常利益が1,362千円（前年度5,808千円）の黒字となったことにより、税引後の当期純利益1,362千円（前年度4,229千円）に繰越利益剰余金期首残高9,303千円（前年度5,073千円）を加算して得られる平成26年度の繰越利益剰余金期末残高は10,665千円（前年度9,303千円）となった。

### <事業部の年間業務>

- 4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）
  - 中・高生学用品販売
  - ランチ販売
  - 団体保険、損害保険代理店業務
  - 駐車場賃貸
- 5月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売、幹事会・父母会等飲料水販売  
収益事業決算
- 7月 中・高生夏期講習用テキスト販売  
中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売
- 8月 夏期休業
- 9月 中・高生新年度用教科書・教材問合せ準備  
中学校・高校文化祭・入試問題集・グッズ等販売
- 10月 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売  
中学校新生用学用品発注
- 11月 中・高生新学期用教科書入荷
  - 中・高生用副教材発注準備・教師用指導書発注
  - 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売

- 12月 中・高生新学期用教科書入荷  
 中学校学校説明会入試問題集・グッズ等販売  
 中学校帰国生入試関係準備
- 1月 中・高在校生教科書副教材申込・集計等  
 中・高生新学期用副教材の発注
- 2月 中学校新入生副教材・学用品販売
- 3月 中・高在校生教科書・副教材販売（2月下旬から3月上旬）  
 中・高生新学期用物品等準備  
 棚卸し（月末）  
 予算編成

## (2) 貸借対照表について

資産の部合計 29,371千円で、前年度比 563千円の減  
 負債の部合計 15,705千円で、前年度比 1,925千円の減  
 純資産の部合計 13,665千円で、前年度比 1,362千円の増

平成23年度に、流動負債の未払金9,678千円を学園に返金し、また純資産の部の繰越利益剰余金についても、平成22年度の△5,784千円の赤字が解消されて1,359千円の黒字となって以来、純資産とその資産に占める割合の増加がともに進み、平成26年度も引き続き健全な資産内容へと改善が進んだ。

## (3) 損益計算書について

平成26年度は、中学入学予定者数が減少したことに伴い商品売り上げが減り、副読本の購入が伸びて書籍売上が増加した。保険取扱手数料については、平成29年3月に向けて損保の代理店業務を段階的に縮小していくため、収入減となっている。また、これまで年間経常収入の約半分を占め、収益事業の経営の安定に貢献して来た音羽駐車場（年間賃料19,920千円）は、平成27年4月からその敷地の用途を学生寮に変更するため、平成26年5月26日に学園に返還され、その賃料収入がなくなった。一方、この音羽駐車場に代わり、平成25年12月20日から小日向テニスコートの敷地を駐車場（時間貸し20台、月極28台）として銀泉（株）に賃貸（年間賃料12,960千円）することとなった。この結果、売上高合計が85,810千円となり、前年度比で8,391千円の減額となった。

一方、商品仕入減に伴い売上原価も減少したため、売上総利益は32,948千円（前年度38,163千円）で前年度比5,215千円の減少（前年度は737千円増加）となり、これから販売費及び一般管理費32,998千円を控除した営業利益は△49千円（前年度4,291千円）となった。販売費及び一般管理費は、学園への寄付金2,000千円を含むものである。営業外利益は1,411千円（前年度1,517千円）であったので、平成26年度の経常利益は1,362千円（前年度5,808千円）の黒字となった。

この結果、税引後の当期純利益は1,362千円（前年度4,229千円）となった。当期純利益に繰越利益剰余金期首残高9,303千円（前年度5,073千円）を加算すると、平成26年度の繰越利益剰余金期末残高は10,665千円（前年度9,303千円）となり、前年度より1,362千円（前年度4,229千円）の増加となった。

## 平成26年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	29,063,894
固定資産	307,502
資産の部合計	29,371,396
負債の部	
流動負債	12,705,970
固定負債	3,000,000
負債の部合計	15,705,970
純資産の部	
元入金	3,000,000
剰余金・欠損金	10,665,426
繰越利益剰余金	10,665,426
純資産の部合計	13,665,426
負債・純資産の部合計	29,371,396

## 平成26年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

経常損益の部	
営業損益	
営業収益	85,810,927
営業費用	52,862,609
売上総利益	32,948,318
販売費及び一般管理費	32,998,072
営業利益	△49,754
営業外損益（収益）	1,411,839
経常利益	1,362,085
特別損益の部	
特別損失	0
税引前当期純利益	1,362,085
法人税・住民税及び事業税	0
当期純利益	1,362,085
繰越利益剰余金期首残高	9,303,341
繰越利益剰余金期末残高	10,665,426

## 監 査 報 告 書

平成27年5月14日

学校法人 跡見学園  
理 事 会 御 中  
評 議 員 会 御 中

学校法人 跡見学園

監事 金井塚 滑   
監事 伊澤 辰雄 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人跡見学園寄附行為第10条の規定に基づき、平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

## 1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（角諭、杉山七美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

## 2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上